

平成25年2月定例会

議案説明資料 予算に関する説明書

(平成25年度当初予算関係)

文化観光局

*各事業の説明資料の「本年度」の欄は来年度の当初計上額
「前年度」の欄は今年度の当初予算額
「比較」の欄は「本年度」－「前年度」の額

*トータルコストについて

トータルコストは、事業ごとに事業費と人件費を一体としたコストを表します。あくまで、費用対効果を判断するための参考表記ですので、職員定数と厳密には一致していません。

また、人役については、表示単位未満を四捨五入で表示しており、結果が0.0人役となるものについては、人件費を0としています。

平成25年2月定例会 議案説明資料目次

文化観光局

【予算関係】

(一般会計)

議案番号	件名	課名等	頁
第 1 号	平成25年度 鳥取県一般会計予算		
	1 当初予算説明資料	(総括表)	1
		文化政策課	2
		交流推進課	27
		観光政策課	41
		国際観光推進課	73
		まんが王国官房	82
	2 組織改正に伴う移管事業一覧		85
	3 歳入歳出事項別明細書		86
	4 節の明細		88
	5 継続費に関する調書	文化政策課	91
	6 債務負担行為に関する調書	文化政策課 他	92

議案説明資料総括表

文化観光局 (単位:千円)

課名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
文化政策課	1,549,544	1,451,289	98,255			19,377	1,530,167	
交流推進課	227,931	266,860	△38,929			31,257	196,674	
観光政策課	577,149	591,699	△14,550			41,827	535,322	
国際観光推進課	334,213	308,333	25,880			10	334,203	
まんが王国官房	306,310	970,913	△664,603	45,797		253,821	6,692	
合計	2,995,147	3,589,094	△593,947	45,797		346,292	2,603,058	

平成25年度の主な事業

○「とっとりスタイルエコツーリズム」の推進

- ・とっとりスタイルエコツーリズム普及推進事業 (国内誘客対策、海外誘客対策ほか)
- ・とっとりスタイルエコツーリズム普及推進事業 (2013 国際大会)
- ・山陰海岸世界ジオパークネットワーク推進事業 (生活環境部緑豊かな自然課と共管)

○「まんが王国とっとり」の発展

- ・まんが王国発ソフトパワー事業

○「北東アジアゲートウェイプラス」の推進

- ・世界へ打って出る“とっとり”国際観光推進事業 (外国人観光客誘致推進事業)
- ・国際航空便利用促進費 (定期便)
- ・(新) 国際クルーズ客船受入推進事業
- ・(新) 第18回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット参加事業
- ・(新) 東アジア多地域連携交流事業

○「鳥取観光“新時代”」の推進

- ・(新) とっとり観光新時代・宿泊促進 WEB 対策事業
- ・(新) 温泉地を愉しむ空間創出プロジェクト支援事業
- ・(新) 鳥取中部ふるさと広域連合との広域観光連携モデル事業
- ・(新) 島根県との広域観光連携事業
- ・(新) 鳥取・岩手・徳島連携事業～怪フォーラム～

○「アーティストリゾート鳥取」の推進

- ・アーティストリゾート推進事業
- ・(新) 「とっとりアートスタート」推進事業

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課 (内線: 7134)

2目 計画調査費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考								
				国庫支出金	起債	その他	一般財源									
アーティストリゾート推進事業	48,679	20,206	28,473				48,679									
トータルコスト	56,623千円 (前年度29,861千円) [正職員: 1.0人]															
主な業務内容	関係機関との連絡調整、運営委員会用務、補助金交付事務等															
工程表の政策目標 (指標)	アーティストと県民が芸術を介して活発に交流する「アーティストリゾート」の展開を促進															
事業内容の説明																
1 事業の目的・概要																
<p>本県の文化芸術のレベルアップや地域の魅力向上を図るため、国内外の芸術家を県内の文化芸術団体やNPOが受け入れ、協働して作品制作を行うこと等を通じて、アーティストが活動しやすい環境 (=アーティストリゾート) づくりを推進する。</p> <p>【展開の方向性】</p> <p>モデルとなる先進的な取り組みを行う団体を中心とし、アーティストの受け入れや芸術活動による地域の課題解決のために必要な知識を全県的に広めていく。</p>																
2 主な事業内容																
(1) 推進組織の育成																
<p>アーティストリゾート推進組織育成事業 14,729千円</p> <p>課題となっている人材やノウハウの不足を解消し、アーティストリゾートの取組の輪を広げていくため、新たに取組を始めようとする団体の育成、支援等を行う実行委員会に対し、支援を行う。</p>																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助対象者</td> <td>「暮らしとアートとコノサキ計画」実行委員会 〔構成団体〕 ・NPO 法人明倫 NEXT100 (倉吉市) ・アートキャンプ日吉津・米子こども彫刻教室実行委員会 (米子市) ・NPO 法人子ども未来ネットワーク (倉吉市) ・大山町築き会 (大山町) ・NPO 法人智頭町森のようちえんまるたんぼう (智頭町) ・米子市文化協議会 ・鳥取大学 ・NPO 法人鳥の劇場 (鳥取市)</td> </tr> <tr> <td>補助事業の内容</td> <td>(1) 国内外の芸術家の招聘・滞在・創作・発表等。 (2) 推進組織の育成、強化 (3) 県による事業評価、政策広報</td> </tr> <tr> <td>補助率等</td> <td>定額</td> </tr> </tbody> </table>									区 分	内 容	補助対象者	「暮らしとアートとコノサキ計画」実行委員会 〔構成団体〕 ・NPO 法人明倫 NEXT100 (倉吉市) ・アートキャンプ日吉津・米子こども彫刻教室実行委員会 (米子市) ・NPO 法人子ども未来ネットワーク (倉吉市) ・大山町築き会 (大山町) ・NPO 法人智頭町森のようちえんまるたんぼう (智頭町) ・米子市文化協議会 ・鳥取大学 ・NPO 法人鳥の劇場 (鳥取市)	補助事業の内容	(1) 国内外の芸術家の招聘・滞在・創作・発表等。 (2) 推進組織の育成、強化 (3) 県による事業評価、政策広報	補助率等	定額
区 分	内 容															
補助対象者	「暮らしとアートとコノサキ計画」実行委員会 〔構成団体〕 ・NPO 法人明倫 NEXT100 (倉吉市) ・アートキャンプ日吉津・米子こども彫刻教室実行委員会 (米子市) ・NPO 法人子ども未来ネットワーク (倉吉市) ・大山町築き会 (大山町) ・NPO 法人智頭町森のようちえんまるたんぼう (智頭町) ・米子市文化協議会 ・鳥取大学 ・NPO 法人鳥の劇場 (鳥取市)															
補助事業の内容	(1) 国内外の芸術家の招聘・滞在・創作・発表等。 (2) 推進組織の育成、強化 (3) 県による事業評価、政策広報															
補助率等	定額															
(2) 自立支援																
(拡充) アーティスト滞在促進事業 2,700千円																
<p>自立して事業を展開できるよう活動団体の取組を支援するとともに、本県に移住してきた芸術家に対し、活動の支援を行う。</p>																
① 短期滞在事業 (900千円)																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助対象者</td> <td>文化・芸術による地域活性化に取り組む団体</td> </tr> <tr> <td>間接補助事業の内容</td> <td>地域団体等が県外の芸術家を受け入れて行う公演や作品展等の芸術・文化活動を中心とした地域活性化事業</td> </tr> <tr> <td>補助率等</td> <td>1/2 (上限300千円) ※市町村間接補助</td> </tr> </tbody> </table>									区 分	内 容	補助対象者	文化・芸術による地域活性化に取り組む団体	間接補助事業の内容	地域団体等が県外の芸術家を受け入れて行う公演や作品展等の芸術・文化活動を中心とした地域活性化事業	補助率等	1/2 (上限300千円) ※市町村間接補助
区 分	内 容															
補助対象者	文化・芸術による地域活性化に取り組む団体															
間接補助事業の内容	地域団体等が県外の芸術家を受け入れて行う公演や作品展等の芸術・文化活動を中心とした地域活性化事業															
補助率等	1/2 (上限300千円) ※市町村間接補助															
② (新) 中長期滞在促進事業 (1,800千円)																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助対象者</td> <td>県外から移住してきた芸術家 (7ヶ月以上の居住が条件)</td> </tr> <tr> <td>間接補助事業の内容</td> <td>本県に移住・定住した若手芸術家が県内で行う展覧会、ワークショップ等の文化芸術事業</td> </tr> <tr> <td>補助率等</td> <td>10/10 (上限1月当たり100千円×6ヶ月) ※市町村間接補助</td> </tr> </tbody> </table>									区 分	内 容	補助対象者	県外から移住してきた芸術家 (7ヶ月以上の居住が条件)	間接補助事業の内容	本県に移住・定住した若手芸術家が県内で行う展覧会、ワークショップ等の文化芸術事業	補助率等	10/10 (上限1月当たり100千円×6ヶ月) ※市町村間接補助
区 分	内 容															
補助対象者	県外から移住してきた芸術家 (7ヶ月以上の居住が条件)															
間接補助事業の内容	本県に移住・定住した若手芸術家が県内で行う展覧会、ワークショップ等の文化芸術事業															
補助率等	10/10 (上限1月当たり100千円×6ヶ月) ※市町村間接補助															

(3) 先進的取組への支援

アーティストリゾート創造事業 11,250千円

自らが遊休施設等を活用して芸術家を受け入れ、文化芸術活動による地域活性化に貢献し、先進的な取組を行う団体に対し、支援を行う。

①ホスピテイル・プロジェクトへの支援(定額補助 1,500千円)

区分	内容
補助対象者	ホスピテイル・プロジェクト実行委員会(鳥取市)
補助事業の内容	(1) 県外の芸術家を鳥取市に招聘し、地域住民及び鳥取大学学生と協働しながら旧横田医院で美術作品を制作・展示 (2) 招聘作家が作品や地域の印象等を語るトークイベントの開催 (3) 子ども等を対象にしたワークショップの開催
総事業費	3,000千円 〔内訳〕 県 1,500千円、鳥取市中心市街地活性化協議会 1,200千円 鳥取大学 300千円

②鳥の演劇祭等への支援(定額補助 9,750千円)

区分	内容
補助対象者	鳥の劇場運営委員会(鳥取市)
補助事業の内容	(1) 「鳥の演劇祭6」の開催 ア 国内外の芸術家による作品の上演 イ 周辺文化事業(体験型講座、トークイベント等)の開催 (2) 国際演劇祭「BeSeTo演劇祭」の併催 中国・韓国の俳優が鹿野町に滞在し、鳥の劇場とともに「日中韓共同制作作品」を制作・上演する。
総事業費	78,100千円(概算) 〔内訳〕 文化庁 57,884千円、県 9,750千円、鳥取市 1,750千円 民間助成 500千円、入場料等 5,863千円、自己資金 2,353千円

(4) 全国発信モデルの創成

(新) アーティストリゾート・地域モデル創成事業 20,000千円

文化芸術を媒介とした全国に誇れる地域活性化のモデルを創成するため、文化芸術施設の所有者及び文化芸術団体等が協働して作成する事業計画(計画期間3カ年、県が認めたものに限る)に基づく支援を行う。

区分	ハード事業	ソフト事業
補助対象者	文化芸術施設を所有する市町村	文化芸術施設で活動し、国から補助を受けている文化芸術団体、地域づくり団体
補助事業の内容	施設整備事業	(1) 全国に発信出来、モデルとなり得る質の高い文化芸術事業 (2) 芸術による地域活性化事業
補助率等	1/2 (上限50,000千円)	(1) 国庫補助額の1/2(上限15,000千円/年) (2) 市町村補助額の1/2以下(上限5,000千円/年)
予算額等	制度要求 (事業計画承認後に 予算要求を行う)	20,000千円

3 これまでの取組状況、改善点

これまで、アーティストリゾートのモデルとなる先進的な事業や市町村の区域内で行われる個別の事業を支援。これら個別の取組から、実施団体がネットワークを構築し、人材を育成し、ノウハウを蓄積する取組へと発展してきた。これにより、文化芸術を地域活性化に活かすだけでなく、地域の課題を解決する新たな視点も生まれている。

今回、アーティストリゾートの目標となる文化芸術の活性化及びアーティストの移住定住を推進する中長期滞在への支援とともに、全国に誇れる地域活性化のモデル創成に取り組む。

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7843）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)「とっとりアートスタート」推進事業	(17,175) 12,488	(0) 0	(17,175) 12,488			(4,687)	(12,488) 12,488	

トータルコスト 14,077千円（前年度 0千円）[正職員：0.2人]

主な業務内容 実行委員会業務、補助金業務

工程表の政策目標(指標) 子ども達や若者が芸術・文化に触れ、感性を磨く機会を確保

事業内容の説明 ※上段（ ）は、商工労働部の緊急雇用創出事業計上分を含む額

1 事業の目的・概要

「子育て王国とっとり」の推進に向け、子どもたちの豊かな感性と創造性を育み、芸術・文化が生活の一部となる生活スタイルの浸透を目指し、未就学児らを対象に良質な文化・芸術作品に触れる機会を提供する「アートスタート事業」を実施する。

2 主な事業内容

本県におけるアートスタート事業の拡充、進展のきっかけとして以下の事業を展開する。また、子育て支援団体、教育機関等からなる実行委員会を立ち上げ、事業を円滑に進める。

区 分	事業概要	実施時期	事業費(千円)
「アートスタート全国フォーラム」の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・海外の著名な子ども向け舞台作品の上演 ・鳥取発の子ども向け芸術作品の紹介 ・パネルディスカッションやワークショップ等の開催 ※全国から延べ2800人程度の集客を想定 	11月	4,684
子ども向け芸術作品の制作、公演	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術家が一定期間滞在し、地域住民と共に子ども向けの新たな芸術作品の制作を実施 ・制作した芸術作品を全国フォーラムのプレ公演として県内で上演し、全国フォーラムをPR 	5～11月	3,360
「アーティスト・イン・スクール」の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術家を幼稚園等に派遣し、芸術家との共同作品制作などアートを活用した授業を実施 	11月	872
事務局運営費	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局経費の一部を支援 	通年	3,572
コーディネーターの配置(委託事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・アートスタート事業にかかる取組情報の収集や発信、相談業務、幼稚園・保育園等での事業実施の調整等を担当するコーディネーター1名を配置 	通年	4,687 (緊急雇用創出事業)
合 計			17,175

3 これまでの取組状況、改善点

本県のアートスタート事業は、単発的な鑑賞機会の提供に留まる他県の取組と違い、地域住民、活動団体、市町村等との協力体制の下に継続的に取り組まれている点で優位な特徴がある。

今回、全国初となる大規模なフォーラムを開催することにより、この取組を「とっとりモデル」として全国に発信し、子育て王国とつとりをPRするとともに、県内における未実施地域の解消につなげていく。

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
2目 計画調査費

文化政策課（内線：7843）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 植田正治生誕100周年記念事業	5,000	0	5,000				5,000	
トータルコスト	5,794千円（前年度 0千円） [正職員：0.1人]							
主な業務内容	補助金交付事務							
工程表の政策目標(指標)	地域の持つ優れた芸術・文化資産の掘り起こし							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 植田正治の生誕100年を記念する事業を実施する植田正治生誕100周年記念事業実行委員会の活動を支援する。								
2 事業内容等								
(1) 補助率 市町村の実質負担額の1/2（但し、限度額は5,000千円）								
(2) 事業の内容 (単位：千円)								
事業名	開催予定期日	開催場所	主な事業内容				事業費	
作品展	3回（通年）	植田正治写真美術館	・特別展「こどもの時間・時空を超えて～植田正治とロベール・ドアノー」等				15,676	
フォトフェスティバル	5月	県内各地	・コンサート&シンポジウム ・撮影地バスツアー ・野外映像投影イベント 等				5,251	
全国写真コンテスト	未定	—	全国規模の写真コンテストを実施				2,014	
事務局運営費等	通年	—	・全国PR ・事業内容の検討 ・事業開催に向けた関係団体との連絡調整等				2,557	
計							25,498	
(新) 田村虎蔵生誕140周年顕彰事業	4,679	0	4,679				4,679	
トータルコスト	6,268千円（前年度 0千円） [正職員：0.2人]							
主な業務内容	補助金交付事務、実行委員会準備・参画、イベント準備・当日支援							
工程表の政策目標(指標)	地域の持つ優れた芸術・文化資産の掘り起こし							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 田村虎蔵生誕140周年顕彰事業を実施する「童謡・唱歌のふるさと鳥取」企画実行委員会の活動を支援する。								
2 事業内容等								
(1) 事業費 補助金 4,679千円（補助率：10/10）								
(2) 事業の内容 (単位：千円)								
事業名	開催予定期日	開催場所	主な事業内容				事業費	
展示事業	5月、6～8月	わらべ館及び県中西部	・田村虎蔵に関する資料（写真、年表、楽譜、出版物等）の展示 ・県中西部での巡回パネル展示				221	
PRコンサート	5月～10月	鳥取駅構内	・県内活動者によるイベント				150	
メインコンサート	10月又は11月	とりぎん文化会館梨花ホール	・県出身者によるアンサンブルと地元合唱団による演奏、合唱等				4,132	
実行委員会経費	3回（通年）	—	・事業内容の検討 ・事業開催に向けた関係団体との連絡調整等				176	
計							4,679	

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
2目 計画調査費

文化政策課 (内線：7134)
(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 第51回全国女流アマ囲碁都市対抗戦開催支援事業	2,000	0	2,000				2,000	
トータルコスト	2,794千円 (前年度 0千円) [正職員：0.1人]							
主な業務内容	補助金交付業務							
工程表の政策目標(指標)	アーティストや文化団体の活動を支援すると共に、芸術・文化活動を支援する者と連携して芸術・文化活動を活性化							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
県内外の多くの方に日本の伝統文化である囲碁の普及・継承を行うとともに、開催地鳥取の魅力为全国に発信することで、地方文化の振興及び地域の活性化を図ることを目的に、第51回全国女流アマ囲碁都市対抗戦倉吉大会実行委員会が主催する「第51回全国女流アマ囲碁都市対抗戦」の開催に係る経費に助成を行う。								
2 事業費 補助金 2,000千円 (定額補助)								
3 第51回全国女流アマ囲碁都市対抗戦の概要								
主 催	第51回全国女流アマ囲碁都市対抗戦倉吉大会実行委員会							
会 期	平成25年10月2日(水)～3日(木)							
会 場	倉吉未来中心、倉吉交流プラザ							
参加予定者数	約700人							
(新) エンジン02鳥取(仮称)開催事業	4,500	0	4,500				4,500	
トータルコスト	5,294千円 (前年度 0千円) [正職員：0.1人]							
主な業務内容	負担金交付事務、実行委員会参画							
工程表の政策目標(指標)	アーティストや文化団体の活動を支援すると共に、芸術・文化活動を支援する者と連携して芸術・文化活動を活性化							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
平成24年3月に開催した「エンジン01文化戦略会議オープンカレッジin鳥取」の成果を継承し、地域文化の振興並びに地域の活性化を図ることを目的に、民間団体を主体に組織される実行委員会が実施する「エンジン02鳥取(仮称)」に要する経費を負担する。								
2 主な事業内容(予定)								
開催時期	平成25年7月又は8月							
開催場所	鳥取市内							
主 催	エンジン02鳥取(仮称)実行委員会							
協 力	エンジン01文化戦略会議							
催事内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各種講座 ・フードフェスティバル ・夜楽(飲食店を会場とした放課後事業) 							
総事業費	10,400千円							
事業費負担内訳	鳥取市5,500千円、鳥取県4,500千円、入場料400千円							

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

2目 計画調査費

文化政策課（内線：7843）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
新生とりアート事業	62,143	53,825	8,318				62,143	
トータルコスト	62,937千円（前年度61,066千円）〔正職員：0.1人〕							
主な業務内容	補助金交付、事務局及び関係者との連絡調整							
工程表の政策目標（指標）	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
平成23年11月に策定した「とりアート構想」に基づき、県内の文化芸術活動のすそ野の拡大、頂点の伸長、人材育成を目的に開催される「第11回とりアート（鳥取県総合芸術文化祭）」を実施する鳥取県総合芸術文化祭実行委員会に対して助成する。								
2 主な事業内容								
(1) 期 間 通年								
(2) 場 所 とりぎん文化会館他県下全域								
(3) 主 催 者 鳥取県総合芸術文化祭実行委員会、鳥取県								
(4) 主な事業内容								
区 分		内 容						
各地区企画運営事業 〔予算額 8,490千円〕		◇各地区ごとに事業テーマを定め、ステージイベントや展示、ワークショップなどを県民から企画公募し、市町村等との協働により様々な場所でにぎわいを演出しながら実施。						
メイン事業 〔予算額 21,605千円〕		◇県内の様々な分野の文化活動主体の協働により、良質で創造的な舞台作品等を提供。 ◇平成25年度は東部地区でとりアートスペシャルコンサート「鳥たちの音楽祭」を実施予定。						
人材育成事業 〔予算額 2,023千円〕		◇講習会、ワークショップ、個別指導等を実施して人材育成を行うとともに、その育成した人材に事業実施を委託。 ◇各地区企画運営事業の充実と円滑な実施のため、各地区企画運営委員会にアートマネージャーを配置。						
広報費、運営事務費 〔予算額 7,871千円〕		◇広報の実施（広報物作成、HP、各種PRイベント等） ◇実行委員会の運営に要する経費						
事務局人件費 〔予算額 22,154千円〕		◇事務局人件費 正職員3人、非常勤職員2人 ※平成24年度に県から（財）鳥取県文化振興財団に事務局を移管したことによる人件費の負担						
3 これまでの取組状況、改善点								
平成24年度から事務局を（財）鳥取県文化振興財団に移管し、平成23年度に策定した「とりアート構想」に基づき、公募による県民からなる実行委員会の中にメイン事業部会、人材育成部会等を設け、様々な意見を集約しながら、より県民に身近で、かつ質の高い事業となるよう取り組んだ。								

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課 (内線: 7839)

1目 企画総務費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
職員人件費	206,580	210,300	△3,720				206,580	
事業内容の説明 一般職員 30名分の人件費								

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課 (内線: 7839)

2目 計画調査費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
第4回とっとり伝統芸能まつり開催事業	12,663	12,881	△218				12,663	
トータルコスト	13,457千円 (前年度: 13,686千円) [正職員: 0.1人]							
主な業務内容	選定委員会開催業務、連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
地域で守られてきた伝統ある行事・芸能を次世代に引き継ぐための取り組みとして、地域伝統芸能の伝承並びに活用の気運を広げることを目的として、伝統芸能から派生する新たな要素を取り入れながら、とっとり伝統芸能まつりを開催する。								
2 主な事業内容								
項目	内 容							
名称	第4回とっとり伝統芸能まつり							
開催時期	平成25年5月19日(日)							
開催場所	倉吉未来中心 大ホール							
内容	○県内伝統芸能功労団体賞表彰式 ○伝統芸能公演 12団体程度							
主催	鳥取県・鳥取県教育委員会							
実施主体	NPO法人プロデュース・ハレ							
事業費内訳	委託料 11,776千円 選定委員会開催経費 155千円 標準事務費 732千円 合計 12,663千円							

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

2目 計画調査費

文化政策課（内線：7134）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
第57回鳥取県美術展覧会開催事業	17,197	22,752	△5,555			(雑入) 1,300	15,897	
トータルコスト	27,524千円（前年度 33,212千円）[正職員:1.3人 非常勤職員:1.3人]							
主な業務内容	運営委員会開催、募集・広報・契約事務、審査会開催、展示、表彰式							
工程表の政策目標(指標)	裾野の拡大と頂点の伸長、上質な芸術文化の提供、気軽に参加・体験できる場の提供							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<p>広く県民から美術作品を募り、優れた作品を展示することにより、鑑賞機会を提供し、美術、文化の振興に寄与する第57回鳥取県美術展覧会を開催する。</p>								
2 主な事業内容 （単位：千円）								
事業区分	予算額	事業内容						
(1) 運営委員会・審査会開催	2,407	・運営委員会において出品規定等について協議 ・出品作品の審査会の開催						
(2) 開会式、表彰	2,536	・開会式及び表彰式の開催						
(3) 展示、巡回展	11,000	・作品搬入・輸送・陳列・搬出等 ・県内4会場で巡回展示						
(4) その他事務	1,254	・図録・目録等の作成、広報等						
3 第57回鳥取県美術展覧会の概要（予定）								
区分	内 容							
主 催	鳥取県、鳥取県教育委員会							
会 場	県立博物館、倉吉博物館・倉吉歴史民俗資料館、米子市美術館、日南町美術館							
会 期	平成25年9月～11月（上記会場を巡回）							
部 門	8部門（洋画・日本画・版画・彫刻・工芸・書道・写真・デザイン）							
表 彰	県展賞、奨励賞							
展 示	審査の上、約460点の作品を展示予定							
鳥取県ジュニア美術展覧会開催事業	13,539	13,509	30			(雑入) 10	13,529	
トータルコスト	19,894千円（前年度 19,946千円）[正職員:0.8人 非常勤職員:2.0人]							
主な業務内容	運営委員会の開催、募集・広報・契約事務、審査会開催、展示、表彰式							
工程表の政策目標(指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<p>児童・生徒の芸術創作活動に対する興味や意欲を高め、芸術文化の振興を図ることを目的として、第11回鳥取県ジュニア美術展覧会（ジュニア県展）を開催する。</p>								
2 主な事業内容 （単位：千円）								
事業区分	予算額	事業内容						
(1) 運営委員会・審査会開催	553	・運営委員会において出品規定等について協議 ・出品作品の審査会の開催						
(2) 開会式、表彰	898	・開会式及び表彰式、審査員講評、受賞者スピーチの開催						
(3) 展示、巡回展	9,629	・作品搬入・輸送・陳列・搬出等 ・県内3会場で巡回展示 ・図録・目録等の作成						
(4) その他事務	2,459	・広報、参加賞の作成等						
3 第11回鳥取県ジュニア美術展覧会の概要（予定）								
区 分	内 容							
主 催	鳥取県、鳥取県教育委員会							
会 場	県内3会場を巡回							
会 期	平成25年12月中旬～平成26年2月中旬							
部 門	3部門（「絵画・デザイン」、「書写」、「写真」）							
表 彰	知事賞、特別賞、教育長賞、奨励賞							
展 示	審査の上、本展示では約1,500点の作品を展示予定							

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7843）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考																		
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																			
第12回JCF学生映画祭開催支援事業	3,000	3,000	0				3,000																			
トータルコスト	3,794千円（前年度 3,805千円）[正職員：0.1人]																									
主な業務内容	補助金交付事務																									
工程表の政策目標（指標）	アーティストや文化団体の活動を支援すると共に、芸術・文化活動を支援する者と連携して芸術・文化活動を活性化																									
事業内容の説明																										
1 事業の目的・概要																										
「JCF学生映画祭」を継続して鳥取県内で開催することで、県内の映像文化に関わる人材の育成や、「映画のまち・鳥取県」としての認知度向上を図る。																										
2 主な事業内容																										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 80%;">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名 称</td> <td>JCF学生映画祭</td> </tr> <tr> <td>主 催</td> <td>JCF学生映画祭実行委員会</td> </tr> <tr> <td>実施時期</td> <td>平成25年秋頃</td> </tr> <tr> <td>実施場所</td> <td>鳥取県内</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>12,000千円</td> </tr> <tr> <td>経費負担</td> <td>主催者9,000千円 鳥取県3,000千円</td> </tr> <tr> <td>事業概要</td> <td>・学生アニメ部門 ・学生映画部門</td> </tr> <tr> <td>応募対象者</td> <td>国内の高校・大学・専門学校等の学生</td> </tr> </tbody> </table>									区 分	内 容	名 称	JCF学生映画祭	主 催	JCF学生映画祭実行委員会	実施時期	平成25年秋頃	実施場所	鳥取県内	総事業費	12,000千円	経費負担	主催者9,000千円 鳥取県3,000千円	事業概要	・学生アニメ部門 ・学生映画部門	応募対象者	国内の高校・大学・専門学校等の学生
区 分	内 容																									
名 称	JCF学生映画祭																									
主 催	JCF学生映画祭実行委員会																									
実施時期	平成25年秋頃																									
実施場所	鳥取県内																									
総事業費	12,000千円																									
経費負担	主催者9,000千円 鳥取県3,000千円																									
事業概要	・学生アニメ部門 ・学生映画部門																									
応募対象者	国内の高校・大学・専門学校等の学生																									
アートスタート「次世代鑑賞者育成事業」	1,500	2,000	△500				1,500																			
トータルコスト	3,089千円（前年度 3,609千円）[正職員：0.2人]																									
主な業務内容	補助金交付事務、関係団体の連絡調整等																									
工程表の政策目標（指標）	子ども達や若者が芸術・文化に触れ、感性を磨く機会を確保																									
事業内容の説明																										
1 事業の目的・概要																										
0歳から小学校入学前の乳幼児（以下「未就学児」という。）の豊かな感性と創造性を育むことを目的に、市町村と連携し、未就学児を対象とした作品鑑賞・創造体験・公演鑑賞の機会を提供する団体の活動を支援する。																										
2 主な事業内容																										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 80%;">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>1,500千円（市町村間接補助金、補助率：県1/2）</td> </tr> <tr> <td>内 容</td> <td>未就学児を対象とした作品鑑賞・創造体験・公演鑑賞の機会を提供する営利を目的としない団体へ市町村を通して助成する。</td> </tr> </tbody> </table>									区 分	内 容	事業費	1,500千円（市町村間接補助金、補助率：県1/2）	内 容	未就学児を対象とした作品鑑賞・創造体験・公演鑑賞の機会を提供する営利を目的としない団体へ市町村を通して助成する。												
区 分	内 容																									
事業費	1,500千円（市町村間接補助金、補助率：県1/2）																									
内 容	未就学児を対象とした作品鑑賞・創造体験・公演鑑賞の機会を提供する営利を目的としない団体へ市町村を通して助成する。																									

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

2目 計画調査費

文化政策課（内線：7843）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県文化芸術活動支援補助金	8,935	11,031	△2,096				8,935	
トータルコスト	12,113千円（前年度14,249千円）[正職員：0.4人]							
主な業務内容	補助金交付業務、選定委員会開催、国民文化祭及び中四国文化の集いへの推薦業務							
工程表の政策目標（指標）	アーティストや文化団体の活動を支援すると共に、芸術・文化活動を支援する者と連携して芸術・文化活動を活性化							

事業内容の説明

1 事業の概要

本県の文化芸術活動の一層の推進を図るため、県内に活動の本拠をおく芸術・文化団体が自主的・自発的に行う芸術・文化活動に対し支援を行う。

2 補助事業の概要

（単位：千円）

区 分	事 業 内 容	(24年度当初) 事業費
(1) 県内外で行われる優れた芸術・文化活動支援事業	○補助対象者自らが企画し、実施する優れた作品展示・舞台公演に対する支援 (補助率 1/2 以内、上限額 300 千円、事業数 4 本程度)	(1,200) 1,200
(2) 知事特認事業	○上記のうち特に優れたものに対する支援 (補助率 1/2 以内、上限額 1,000 千円、事業数 1 本程度)	(2,000) 1,000
(3) 刊行物発刊支援事業	○補助対象者が行う日本語による出版活動に対する支援 (補助率 定額、限度額 300 千円、事業数 1 本程度) 【拡充】助成上限額の引き上げ 100 千円⇒300 千円 【補助要件の追加】県内の事柄又は県内出身人物の顕彰等をテーマにした内容であること	(300) 300
(4) 芸術・文化活動ステップアップ支援事業	○県内でステップアップを図ろうとする補助事業者が自ら企画し実施する作品展示・舞台公演に対する支援 (補助率 1/2 以内、上限額 100 千円、事業数 3 本程度)	(500) 300
(5) 周年支援事業	○定例的に行われる活動の周年事業に対する支援 (補助率 1/2 以内、上限額 100 千円、事業数 5 本程度)	(500) 500
(6) 芸術・文化活動によるまちづくり支援事業	○芸術・文化活動をツールとしたまちづくりを行う団体による作品展示・舞台公演に対する支援 (補助率 1/2 以内、上限額 100 千円、事業数 3 本程度)	(300) 300
(7) 次世代活動者育成支援事業	○芸術・文化活動を行う青少年の育成を図る文化団体が実施する作品展示・舞台公演に対する支援 (補助率 1/2 以内、上限額 300 千円、事業数 3 本程度) 【拡充】助成上限額の引き上げ 100 千円⇒300 千円 全国発信事業を追加	(800) 900
(8) 国民文化祭等参加推進事業	○第 28 回国民文化祭 (H25 山梨) 及び第 22 回中四国文化の集い (H25 高知) に補助対象者が参加する経費を助成	(5,153) 4,162
(9) 選定委員会開催費	○(1) の事業に係る審査基準の設定及び事業計画書等の審査 (選定委員数 5 人)	(278) 273
合 計		(11,031) 8,935

※補助率は、波及効果が複数市町村に及ぶ活動の場合であり、波及効果が単独市町村に限定される活動の場合は、補助対象経費の 1/4 の額又は当該市町村からの助成額のいずれか低い額を当該補助金の限度額とする。

3 これまでの取組状況、改善点

活動者の意見を踏まえ、助成限度額の引き上げや、補助対象事業の拡大等の見直しを行った。

※選定委員会を実施し交付対象となる事業候補を選定することから、議決になることを留保条件とした上で、年度初めの事業に考慮し、1月21日（月）から募集を開始している。

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課 (内線: 7134)

2目 計画調査費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県文化団体連 合会活動支援事業	24,056	25,622	△1,566				24,056	
トータルコスト	28,822千円 (前年度 30,450千円) [正職員: 0.6人]							
主な業務内容	補助金交付事務、鳥取県文化団体連合会への支援							
工程表の政策目標 (指標)	アーティストや文化団体の活動を支援すると共に、芸術・文化活動を支援する者と連携して芸術・文化活動を活性化							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

地域に根ざした創造性の高い意欲的な活動を育成し、特色ある地域文化の振興を図るとともに、文化的な公共サービスの担い手である鳥取県文化団体連合会の自立と活性化を支援し、県民が文化に親しめる環境を整備する。

2 主な事業内容

(1) 鳥取県文化団体連合会活動支援補助金 23,656千円

(単位: 千円)

区 分	内 容	事業費
(1) 加盟団体実 施事業への補助 (23事業)	○鳥取県文化団体連合会加盟の県域文化団体が開催する事業 (舞台、文芸等の発表、展示、研修事業、講習会) に対する 支援	18,000
	事業主体 県域文化団体	
	補助金額 2分の1 (上限2,000千円)	
	交付方法 外部審査員を加えた審査会で対象事業を選定	
(2) 県文連実施 事業、事務局運 営への支援	○機関誌発行 会員相互の情報交換・情報発信を活性化させるための機関 誌の年1回発行に要する経費 ○鳥取県文化団体連合会事務局の運営費への支援	5,656

(2) 芸術入門講座の実施委託 400千円

県内の文化芸術活動の裾野の拡大を図るため、舞台、展示、文芸、市町村の各分野毎に、芸術初心者が必要な文化芸術に一度に触れられる入門講座の実施を委託する。

3 これまでの取組状況、改善点

- ・ 県文連設立以降、県に設置されていた事務局を19年度に独立。
- ・ 加盟団体助成事業については、19年度から外部審査員を加えた審査会で対象事業を選定。
- ・ 23年度より、分野内の複数団体による企画広報会議を開催し、分野内の連携を強化している。
- ・ 芸術入門講座において、23年度から分野毎に連携し、様々なジャンルに一度に触れられる「芸術たのしみ広場」として実施し、裾野拡大に実効ある形での事業展開を図っている。

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

2目 計画調査費

文化政策課（内線：7134）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
とっとりの文化芸術探訪事業	5,359	4,848	511			(雑入) 10	5,349	
トータルコスト	7,742千円（前年度 7,262千円）[正職員：0.3人 非常勤職員0.2人]							
主な業務内容	補助金交付事務、事業実績の確認、催しの企画・広報・実施への協力							
工程表の政策目標(指標)	地域の持つ優れた芸術・文化資産の掘り起こし							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

全国的に大きな業績を残している本県ゆかりの文化芸術分野の先人について、その魅力や業績を再発掘し、地域の文化資源として活用する取組を支援するとともに、その業績や魅力を県内外に広く発信し、本県の魅力の向上を図る。

2 主な事業内容

(1) 顕彰事業の立ち上げへの支援

区 分	内 容
事業費	900千円（補助金）
補助事業	全県的に顕彰すべき文化芸術分野の先人の顕彰事業を行う実行委員会に対し、助成金を交付して、活動の拡大に向けた支援を行う。
補助率	2分の1 （3年限度／上限300千円、複数の顕彰を行う場合は500千円）
顕彰予定の先人	池田亀鑑（中世古典文学研究者／日南町出身）ほか

(2) 全国発信事業への支援

区 分	内 容
事業費	2,000千円（補助金）
補助事業	県民で組織された実行委員会等が実施する文化芸術分野の先人の顕彰事業のうち、特に全国的な情報発信が見込まれる事業について、助成金の交付を行い活動への支援を行う。
補助率	2分の1（上限500千円）
顕彰予定の先人	<ul style="list-style-type: none"> ・尾崎翠（小説家／岩美町出身） ・尾崎放哉（俳人／鳥取市出身） ・鷺見三郎（ヴァイオリン演奏家／米子市出身） ・吉田璋也（民藝運動家／鳥取市出身）

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
2目 計画調査費

文化政策課（内線：7134）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
芸術鑑賞教室開催補助金	10,000	10,000	0				10,000	
トータルコスト	10,794千円（前年度 10,805千円）[正職員：0.1人]							
主な業務内容	補助金交付事務、実績報告書の審査等							
工程表の政策目標(指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 県内の児童・生徒等を対象に、文化施設及び学校体育館等において芸術を鑑賞する機会を提供し、豊かな情操を培い、健全な育成に資することを目的とした芸術鑑賞教室を開催する（財）鳥取県文化振興財団に対して経費の助成を行う。								
2 主な事業内容								
区分	内 容							
事業費	10,000千円（補助金）							
補助対象者	（財）鳥取県文化振興財団							
補助事業	(1) 鳥取県芸術鑑賞教室（高等学校・特別支援学校） 高校及び特別支援学校の生徒、教職員等を対象に、音楽・演劇・伝統芸能等、さまざまな分野の芸術鑑賞公演を開催する。 (2) 児童生徒を対象とした芸術文化事業 （芸術鑑賞教室、青少年劇場小公演、青少年劇場巡回公演） 小中学校の児童・生徒を対象に、学校等を会場として音楽・児童劇・人形劇等の芸術鑑賞公演を開催する。							
補助率	10/10							
補助対象経費	○上記（1）の事業については、その事業に要する経費 ○上記（2）の事業については、当該公演の実施に係る連絡調整に要する経費（公演に要する経費は市町村が負担）							
青少年のための弦楽入門講座開催支援事業	2,718	2,718	0				2,718	
トータルコスト	3,512千円（前年度 3,523千円）[正職員：0.1人]							
主な業務内容	周知説明、補助金交付事務							
工程表の政策目標(指標)	子ども達や若者が芸術・文化に触れ、感性を磨く機会を確保							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 本県における弦楽器活動者の裾野の拡大を図るため、弦楽器を始めて間もない青少年や未経験者を対象に弦楽器の魅力伝える活動を行う実行委員会に対して経費助成を行う。								
2 主な事業内容								
区分	内 容							
事業費	2,718千円（補助金）							
補助対象者	東部、中部、西部の各地区ごとに交響楽指導者、高校弦楽部等顧問、弦楽器指導者などで構成する実行委員会							
補助事業	弦楽器に取り組む青少年の増加や鑑賞者の育成などを目的に、各地区実行委員会が要望を踏まえ、自ら企画運営して行う事業							
補助率	10/10（上限 各906千円）							
補助対象経費	講師の招へいに要する経費（謝金および旅費）、会場および備品借上料、資料購入費、打ち合わせに要する経費、広報宣伝費、その他必要経費							

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
2目 計画調査費

文化政策課 (内線：7134)
(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
芸術・文化に親しみやすい環境整備支援事業	1,000	1,000	0				1,000	
トータルコスト	1,794千円 (前年度 1,805千円) [正職員：0.1人]							
主な業務内容	周知説明、補助金交付事務							
工程表の政策目標(指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 県民が気軽に芸術・文化催事に参加できるように手話、送迎バス、託児などの環境整備を行う団体等に対して経費の助成を行う。								
2 主な事業内容								
区 分	内 容							
事業費	1,000千円 (補助金)							
補助対象者	県内で芸術・文化催事を主催するにあたり、誰もが当該催事に参加できるような環境整備を行う団体等							
補助事業	手話・要約筆記の設置、公演等における点字訳資料の作成、送迎バスの手配、介助担当者の配置、託児提供等の環境整備							
補助率	10/10 (上限 1事業あたり100千円)							
補助対象経費	上記環境整備に係る経費							
鳥取県魅力ある博物館づくり支援事業	2,300	2,300	0				2,300	
トータルコスト	3,094千円 (前年度 3,105千円) [正職員：0.1人]							
主な業務内容	補助金交付事務							
工程表の政策目標(指標)	地域の持つ優れた芸術・文化資産の掘り起こし							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 文化拠点施設として魅力ある博物館づくりを推進するため、県内の民間の博物館等が実施する作品展及び県立を除く博物館等が実施する収蔵品等調査事業を支援する。								
2 主な事業内容								
区 分	事業費	内 容						
鳥取県魅力ある展示支援事業	1,600	県内の民間の博物館、美術館、資料館等が開催する鳥取県ゆかりの作家の作品展に要する経費の一部を助成する。 補助率：2/3 (上限 666千円) ※公立館での作品展は、公立館本来の目的であるため対象外。						
鳥取県収蔵品等調査・活用支援事業	700	県内の県立を除く博物館、美術館、資料館等が実施する所蔵資料及び美術品等の調査に要する経費を助成する。 補助率：10/10 (上限 350千円)						

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

2目 計画調査費

文化政策課 (内線: 7843、7134)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国際文化交流事業	10,235	17,502	△7,267				10,235	
トータルコスト	15,001千円 (前年度: 26,353千円) [正職員: 0.6人]							
主な業務内容	派遣団体への経費助成、関係者との連絡調整、派遣に係る各種調整・支援、派遣団随行、出品作品の輸送・展示等							
工程表の政策目標 (指標)	アーティストや文化団体の活動を支援すると共に、芸術・文化活動を支援する者と連携して芸術・文化活動を活性化							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
韓国江原道をはじめとする環日本海諸国と、青少年及び県内文化団体の芸術文化交流を行うことで、本県の文化芸術を発信するとともに、相互理解と参加団体の意欲及び技術の向上を図る。								
2 主な事業内容								
区分	予算額	内 容						
鳥取県文化団体連合会国際交流支援事業	3,267	鳥取県文化団体連合会 (県文連) の加盟団体が、韓国江原道及び台湾台中市の文化団体と交流を行う事業に対して助成し、芸術・文化を通じた国際理解及び文化交流を促進する。(補助率1/2)						
		第1回鳥取県・韓国江原道展示分野交流事業	実施主体	原文連加盟の展示分野団体 (6団体)				
			開催地	江原道				
			事業内容	相互交流展示				
		第4回鳥取県・台中市書道交流事業	実施主体	鳥取県書道連合会				
			開催地	台中市				
			事業内容	相互交流展示				
国際文化交流事業 (青少年による文化交流)	5,262	韓国江原道で開催される「江陵国際青少年芸術祝典」及び台湾台中市で開催される「台中大甲媽祖国際観光フェスティバル」に本県の青少年を派遣し、伝統芸能等を披露するとともに各地域の青少年と交流し相互理解を図る。						
		江陵国際青少年芸術祝典	開催時期	8月上旬				
			開催地	韓国江原道江陵市鏡浦海水浴場				
			参加者	世界10カ国20都市の青少年				
		台中大甲媽祖国際観光フェスティバル	派遣人員	米子白鳳高校郷土芸能部20名 (予定)				
			開催時期	3月下旬頃				
			開催地	台湾台中市内大甲鎮瀾宮ほか各箇所				
参加者	世界各地の文化芸術団体等							
派遣人員	日野高校郷土芸能部20名 (予定)							
国際文化交流事業 (北東アジア地方政府サミット美術作品展示会)	1,706	ロシア沿海地方で開催される第18回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットに併せ開催される第15回北東アジア地方政府サミット美術作品展示会に本県の美術作家の作品を出展し、本県の文化芸術についての理解を深めていただくとともに、代表団を派遣し、各地域の美術家相互間の交流を促進する。						
		開催時期	平成25年サミット開催時					
		開催場所	ロシア沿海地方					
		参加国	韓国江原道、中国吉林省、ロシア沿海地方、モンゴル中央県、鳥取県					
		参加内容	○美術作品の出展 分野: 日本画・洋画・書道等 出展数: 各地域15点 (合計75点) ○代表団の派遣 人数: 美術家3名、行政職員1名 派遣期間: 5泊6日					

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7839）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県文化功労賞 知事表彰	3,268	3,270	△2				3,268	
トータルコスト	4,857千円（前年度 4,879千円）[正職員：0.2人]							
主な業務内容	選定委員会の開催、表彰式の開催、作品展の企画運営、関係者との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	地域の持つ優れた芸術・文化資産の掘り起こし							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>優れた文化芸術活動により、広く文化の振興に功績のあった方の功労をたたえて表彰し、県民文化の向上発展に資する。また、受賞者の作品展を開催し、その功績を広く県民に紹介する。</p> <p><表彰の対象></p> <p>表彰者は、芸術文化の各分野において顕著な功績をあげ、県民文化の向上発展に貢献した県民（県内に在住していた者を含む。）で、永年にわたり芸術文化活動に従事し、功績顕著な者</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 文化功労賞 2,984千円</p> <p>①表彰式</p> <p>日時：12月下旬（予定、巡回展開催前もしくは巡回展開催初日）</p> <p>場所：知事公邸又は巡回展会場</p> <p>②巡回展</p> <p>県内3カ所程度の巡回展とし、県民へ受賞者とその功績・作品を紹介する。</p> <p>時期：1月上旬～3月（各箇所5日程度）</p> <p>場所：県内3ヶ所程度（東部、中部、西部各1箇所）</p> <p>(2) 知事賞の交付 284千円</p> <p>公募展などに交付する知事賞の表彰状及び副賞楯交付に係る経費</p>								

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
2目 計画調査費

文化政策課(内線:7839、7134)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県文化芸術振興審議会運営費	545	553	△8				545	
トータルコスト	2,134千円(前年度 2,162千円)[正職員:0.2人]							
主な業務内容	審議会の運営、審議会に必要な調査・資料作成、審議会委員との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	アーティストや文化団体の活動を支援すると共に、芸術・文化活動を支援する者と連携して芸術・文化活動を活性化							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
文化芸術の振興に関する事項を調査審議するため、鳥取県文化芸術振興条例に基づき設置した「鳥取県文化芸術振興審議会」を運営する。								
開催回数:年4回程度								
審議会委員:10人(定員 10人以内)								
2 事業費								
545千円(審議会委員の旅費、報酬等)								
(新)鳥取県文化芸術事業評価事業	2,074	0	2,074				2,074	
トータルコスト	3,663千円(前年度 0千円)[正職員:0.2人]							
主な業務内容	評価委員会開催、実地検証様式等の調整							
工程表の政策目標(指標)	アーティストや文化団体の活動を支援すると共に、芸術・文化活動を支援する者と連携して芸術・文化活動を活性化							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
県が実施又は助成する文化芸術事業において、良質な作品創造や県民の文化芸術事業への鑑賞、参加の機会の充実及び効率的な事業の運営方法の確立を図るため、評価委員会を設置し、事業評価を行う。								
2 事業内容等								
(1) 鳥取県文化芸術事業評価委員会を開催し、次に掲げる事項を実施。								
①評価に係る実施方針の決定								
②評価項目の作成及び調整								
③評価報告書の作成、公表及び評価報告会の開催								
④評価対象事業における改善が必要な事項の指摘								
⑤被評価者が作成する改善計画の承認								
(2) 評価委員								
・県民(県内在勤者を含む。)のうちから鳥取県文化観光局長が委嘱する委員をもって構成。								
・20名以内								
(3) 評価対象事業								
委員会と県が協議のうえ、次に掲げる事業のうちから選定。								
①鳥取県総合芸術文化祭主催事業								
②鳥取県文化団体連合会加盟団体助成事業								

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
 2項 企画費
 2目 計画調査費

文化政策課（内線：7839）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県立県民文化会館管理委託費	235,766	235,657	109			(雑入) 15,750	220,016	
トータルコスト	238,149千円（前年度 238,071千円）[正職員：0.3人]							
主な業務内容	委託業務の適正な執行管理、指定管理者との連絡調整、委託料の支払、実績報告書の審査							
工程表の政策目標(指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 県民文化会館（とりぎん文化会館）の管理運営及び本県の文化振興を図るための事業の実施を指定管理者に委託する。 ・指定管理者：財団法人鳥取県文化振興財団 ・指定期間：平成21年4月1日～平成26年3月31日								
2 主な事業内容 (1) 管理運営委託料 235,624千円 (参考) 5か年分の委託料 1,177,845千円 (2) 次期指定管理者選定委員会経費 142千円 平成26年度からの次期指定管理期間にかかる指定管理者の選定等に要する経費。								
鳥取県立倉吉未来中心管理委託費	90,128	90,001	127				90,128	
トータルコスト	92,511千円（前年度 92,415千円）[正職員：0.3人]							
主な業務内容	委託業務の適正な執行管理、指定管理者との連絡調整、委託料の支払、実績報告書の審査							
工程表の政策目標(指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 倉吉未来中心の管理運営業務の実施を指定管理者に委託する。 ・指定管理者：財団法人鳥取県文化振興財団 ・指定期間：平成21年4月1日～平成26年3月31日								
2 主な事業内容 (1) 管理運営委託料 90,001千円 (参考) 5か年分の委託料 820,229千円 (うち県委託料 447,489千円) ※ 委託料のうち、アトリウム等の管理等に要する経費及び利用料減免の補てんに要する経費は県、その他は県と倉吉市（中部市町）が1/2ずつ負担する。 (2) 次期指定管理者選定委員会経費 127千円 平成26年度からの次期指定管理期間にかかる指定管理者の選定等に要する経費。								

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

2目 計画調査費

文化政策課 (内線：7839)

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県立県民文化会館等施設整備事業	37,656	366,732	△329,076				37,656	
トータルコスト	42,422千円 (前年度 371,560千円) [正職員：0.6人]							
主な業務内容	修繕等の発注、備品購入、指定管理者との連絡調整、関係課との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
県民文化会館(とりぎん文化会館)及び倉吉未来中心の施設運営に必要な施設修繕、備品更新等に要する経費。								
2 主な事業内容								
(単位：千円)								
内 訳								予算額
県民文化会館(とりぎん文化会館)								
直流電源装置部品交換及び蓄電池更新								6,598
フリースペース及び梨花ホール屋根防水修繕								12,649
スタッキングパイプ椅子用台車更新								149
移動式スクリーン更新								1,092
梨花ホール及び小ホールマイク更新								813
AED(自動体外式除細動器)更新								215
倉吉未来中心								
大・小ホール三点吊りマイク設備改修								1,389
大ホール吊物・床機構エンコーダユニット改修								2,226
空調室外機塗装修繕								6,250
大・小ホール録音・再生機器更新								1,196
セミナールーム音響設備更新								766
移動式スクリーン更新								319
小ホールスポットライト更新								2,618
スモークマシン更新								657
AED(自動体外式除細動器)更新								215
カセットテープデッキ修繕								504
合 計								37,656

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課 (内線: 7839)

2目 計画調査費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 鳥取県立県民文化会館舞台床改修事業	73,740	0	73,740				73,740	
トータルコスト	74,534千円 (前年度 0千円) [正職員: 0.1人]							
主な業務内容	指定管理者との連絡調整、関係者との連絡調整、関係書類の作成							
工程表の政策目標(指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
県民文化会館(とりぎん文化会館)の開館から約20年を経過し、梨花ホールの舞台床面の傷、剥がれ等が生じていることから安全確保のため舞台床の張替えを行うとともに、利便性向上のため移動式音響反射板の走行レール上の蓋の開閉を自動化する。								
2 主な事業内容								
(1) 梨花ホール舞台床更新工事 木製床組構造である梨花ホール舞台床面の集成材等の張替えを行う。								
(2) 梨花ホール音響反射板レール蓋自動開閉化改良工事 舞台上での生演奏等における音響効果を高めるため設置されている可動式の音響反射板は、その移動に際し、重量のある走行レール上の蓋(舞台床を兼ねている)を人力で開閉する必要がある。このため上記舞台床の更新に併せ、蓋が自動で開閉するよう改修を行う。								
3 必要経費の内訳等 (平成25~26年度継続費 175,276千円)								
	年度	金額	内 容					
	平成25年度	73,740千円	・実施設計委託 ・工事請負費、工事監理費(前金)					
	平成26年度	101,536千円	・工事請負費、工事監理費					
	合計	175,276千円						
鳥取県立童謡館管理運営費	83,051	72,676	10,375		(雑入)	13	83,038	
トータルコスト	85,434千円 (前年度 75,090千円) [正職員: 0.3人]							
主な業務内容	委託業務の適正な執行管理、指定管理者との連絡調整、委託料の支払、実績報告書の審査等							
工程表の政策目標(指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
童謡館の管理運営及び文化事業の実施を指定管理者に委託する。 ・指定管理者: 財団法人鳥取童謡・おもちゃ館 ・指定期間: 平成21年4月1日~平成26年3月31日								
2 主な事業内容								
(1) 管理運営委託料 72,676千円 (参考) 5か年分の委託料 719,615千円 (うち県委託料 363,380千円) ※委託料は、文化事業費(童謡・唱歌に係る事業は県負担、おもちゃに係る事業は鳥取市負担)を除き、県と鳥取市で1/2ずつ負担する。								
(2) 施設修繕・備品更新等 (単位: 千円)								
	内 訳						予算額	
	童謡館木造教室等映像・音響・調光制御機器更新業務						9,991	
	公衆無線LAN整備						27	
	AED(自動体外式除細動器)更新						215	
	合計						10,233	
(3) 次期指定管理者選定委員会経費 142千円 平成26年度からの次期指定管理期間にかかる指定管理者の選定等に要する経費。								

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

2目 計画調査費

文化政策課 (内線：7839)

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県立米子コンベンションセンター管理費	170,174	104,510	65,664				170,174	
トータルコスト	173,352千円 (前年度 107,728千円) [正職員：0.4人]							
主な業務内容	修繕等の発注、備品購入、指定管理者との連絡調整、関係市との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

米子コンベンションセンターの管理運営を指定管理者に委託するとともに、老朽化等にともなう施設の修繕及び備品の更新等を行い、利用者の利便性向上を図る。

- ・指定管理者：財団法人とっとりコンベンションビューロー
- ・指定期間：平成21年4月1日～平成26年3月31日

2 主な事業内容

(1) 管理運営委託料 125,170千円

管理運営委託料にかかる負担割合の見直しについて、地元米子市と以下のとおり合意したので、平成25年度から新たな負担割合を適用する。

(単位：千円)

区分	見直し後 (県:米子市=2:1)	見直し前 (県:米子市=1:1)	増減
委託料	187,754	187,754	—
うち県委託料	125,170	93,877	31,293
うち市委託料	62,584	93,877	△31,293

[参考] 5か年分の委託料 927,234千円 (うち県委託料 494,910千円)

(2) 施設の修繕、備品の更新等 44,830千円

(単位：千円)

内 訳	予算額
館内映像システム更新	31,360
煙感知器取替	9,377
多目的ホール吊物ブレーキライニング等交換	2,530
音響機器修繕	1,000
移動式スクリーン更新	348
AED (自動体外式除細動器) 更新	215
合 計	44,830

(3) 次期指定管理者選定委員会経費 174千円

平成26年度からの次期指定管理期間にかかる指定管理者の選定等に要する経費。

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7839）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
米子コンベンションセンター舞台音響設備改修工事	171,337	17,131	154,206				171,337	
トータルコスト	173,720千円（前年度 19,545千円）[正職員：0.3人]							
主な業務内容	指定管理者との連絡調整、関係者との連絡調整、関係書類の作成							
工程表の政策目標(指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

総合評価入札方式（設計施工一括）により、米子コンベンションセンター多目的ホール及び小ホールの舞台音響設備機器を更新する。

当該事業については、平成25年1月に入札実施、契約締結したところであり、実施設計委託については平成25年7月末まで、その後導入機器を製作し、ホールを閉鎖して行う音響機器据付工事については平成26年12月から平成27年2月末にかけて施工する。

2 必要経費の内訳等（平成25～26年度債務負担行為 416,940千円）

年度	金額	内容
平成24年度	5,575千円	・選定委員会開催経費 ・実施設計委託(前払金)
平成25年度	171,337千円	・実施設計委託 ・工事請負費(前払金)
平成26年度	245,603千円	・工事請負費、工事監理費
合計	422,515千円	

<実施スケジュール>

24年度			25年度							26年度						
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	～	3月	4月	～	10月	11月	12月	1月	2月
←→																
入札・契約																
←→																
実施設計委託																
														←→		
														機器製作工事		
														←→		
														機器据付工事		

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課 (内線：7839)

2目 計画調査費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県立夢みなとタワー管理委託費	200,310	121,477	78,833				200,310	
トータルコスト	201,899千円 (前年度 123,086千円) [正職員：0.2人]							
主な業務内容	指定管理者との連絡調整、修繕事務等							
工程表の政策目標(指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<p>夢みなとタワーの管理運営を指定管理者に行わせるとともに、必要な施設修繕等を行い、利用者の利便性向上、質的環境の整備を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者：財団法人鳥取県観光事業団 ・指定期間：平成21年4月1日～平成26年3月31日 								
2 主な事業内容								
(1) 管理運営委託料 114,390千円								
(参考) 5か年分の委託料 572,850千円								
(2) 施設修繕 (単位：千円)								
内 訳				予算額				
中央監視装置改修工事				50,430				
多目的ホール調光盤改修工事				33,667				
展示パネル更新				1,000				
会議用テーブル更新				426				
AED(自動体外式除細動器)更新				215				
合 計				85,738				
(3) 次期指定管理者選定委員会経費 182千円								
平成26年度からの次期指定管理期間にかかる指定管理者の選定等に要する経費。								
文化観光局管理運営費	19,924	20,788	△864			(収益事業収入) 2,287 (雑入) 7	17,630	
トータルコスト	58,055千円 (前年度 59,409千円) [正職員：4.8人 非常勤職員：1.0人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、文化観光局業務の方針検討、負担金の支払い、予算・議会関係業務等							
工程表の政策目標(指標)	アーティストや文化団体の活動を支援すると共に、芸術・文化活動を支援する者と連携して芸術・文化活動を活性化							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
(単位：千円)								
事業名	事業内容						予算額	
財団法人地域創造負担金	財団法人地域創造の運営基盤を整備するため、宝くじの売上額に応じて財政的支援を行う。						2,287	
事務費等	非常勤職員の報酬、文化観光局にかかる事務費等						17,637	
合 計						19,924		

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

2目 計画調査費

文化政策課（内線：7134）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(廃止)「再興第96回院展鳥取展」開催支援事業	0	2,000	△2,000					
トータルコスト	0千円（前年度 3,609千円）							
事業内容の説明 （廃止）平成24年度単年度事業として実施したため。								

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

中部総合事務所県民局（電話：0858-23-3186）

2 項 企画費

→ 事業実施：中部総合事務所地域振興局

2 目 計画調査費 <地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
中部振興活動費	3,000	3,000	0				3,000	
トータルコスト	8,561千円（前年度 8,632千円）[正職員0.7人]							
主な業務内容	地元市町及び民間と連携したまちづくり、観光促進、文化振興、三徳山等文化遺産の活用に向けた情報発信、企画調整など							
工程表の政策目標(指標)	観光資源の掘り起こし・磨き上げ、広域連携の推進							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>文化振興、観光振興、三徳山等文化遺産の活用及び地域づくり活動に向けて、地元自治体や民間団体と連携した取組を推進する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 歴史文化や景観資源及び地元住民（団体）等を活用・連携したまちづくり、地域文化づくりに関する取組</p> <p>(2) 滞在型・体験型観光の開発に関する取組</p> <p>(3) 中部地区における外国人観光客誘致の推進</p> <p>(4) 国立公園編入を契機とした三徳山の県内外への価値の再認識・発信に関する取組</p> <p>(5) 鳥取力創造運動への支援、地域づくりの取組に係る機運醸成</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>(1) 三徳山を文化遺産としてまちづくりに活かしていくという視点での取組を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ・雑誌等の取材協力 ・地域毎の学習会開催支援 ・推進協議会情報発信部会事務局として全体調整 <p>(2) とっとり梨の花温泉郷広域観光協議会に参画し、観光商品の造成、PR活動等を行い広域観光振興を推進した。</p> <p>(3) 総合芸術文化祭中部地区企画運営委員会への参画を通して、地元文化活動団体等の取組を支援するとともに、総合芸術文化祭を核としつつ次世代の育成や地域資源を利用した地域文化の創造につなげているところ。</p>								

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課 (内線: 7240)

1目 企画総務費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 第18回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット参加事業	1,250	0	1,250				1,250	
トータルコスト	10,783千円 (前年度 0千円) [正職員: 1.2人]							
主な業務内容	会議参加に係る企画・立案、開催地域・関係部署等との連絡調整、資料作成・各種翻訳、随行通訳等							
工程表の政策目標(指標)	既存の地域間ネットワーク及び本県が持つ地勢的優位性を活かすべく戦略的な連携を構築							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>ロシア沿海地方で開催される「第18回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」に鳥取県代表団を派遣する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットへの参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期及び場所 秋頃(予定)、ロシア沿海地方ウラジオストク市 ・サミット開催に併せて実施される関連事業(予定): 経済協議会、環境保護機関実務者協議会、美術作品展示会、大学教授協議会、マスコミ代表者会議 <p>(2) サミットの事前準備会合として開催される実務代表者会議への参加(夏頃)</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>本サミットは、鳥取県、韓国江原道、中国吉林省、ロシア沿海地方を構成員として平成6年より開催(平成12年よりモンゴル中央県が参加)。これまでのサミットでの合意により、経済協議会、環境保護機関実務者協議会、大学教授協議会、マスコミ代表者会議が設立された。さらに、DBS航路、米子・ソウル便の利用促進に対する相互協力等についても合意がなされるなど、各分野での相互連携、協力の契機となっており、北東アジア地域の交通網構築といった具体的な取組を一層推進する。</p>								
(新) 東アジア多地域連携交流事業	4,554	0	4,554				4,554	
トータルコスト	17,264千円 (前年度 0千円) [正職員: 1.6人]							
主な業務内容	事業実施に係る企画・立案、関係機関との連絡調整、資料作成、随行通訳等							
工程表の政策目標(指標)	既存の地域間ネットワーク及び本県が持つ地勢的優位性を活かすべく戦略的な連携を構築							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>東アジア地域の多地域間の青少年交流を通して国際感覚の涵養を図るとともに、環日本海定期貨客船、米子・ソウル便などが「友好を育み、地域をつなぐ」共通の交通・交流基盤であることを広くPRするため、青少年スポーツ交流及び海外大学生インターンシップ受入事業を実施する。また、北東アジアゲートウェイプラスを推進するため、東南アジア地方政府幹部視察団の受入を行う。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 青少年スポーツ交流事業 (2,568千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期: 8月頃(8泊9日) ・対象: 鳥取県、江原道、沿海地方の青少年(沿海地方15名、江原道15名程度) ・内容: 鳥取県内でのスポーツ交流、県民との文化体験交流等 <p>(2) 海外大学生インターンシップ受入事業 (1,036千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期: 7月~8月(30日程度) ・対象: 日本語によるコミュニケーション能力を有する台湾・韓国大学生30名程度 ・内容: 県内宿泊施設、観光協会における接遇研修・職場体験、県内観光施設視察等 <p>(3) 東南アジア地方自治体幹部視察団の受入((財)自治体国際化協会実施事業) (950千円)</p> <p>東南アジア地域から地方自治体の幹部の視察団を受け入れて、今後の交流促進に向けた人的ネットワークを構築する。(時期: 10月~11月(3~4日程度) 人数: 10名程度)</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>青少年スポーツ交流事業については、平成22年よりバドミントン交流を実施しており、種目の拡充を図る。海外大学生インターンシップ受入事業については、平成23年より実施し、県内受入施設の外国人観光客受入対応能力の向上等に繋がっており、参加学生数と受入施設の拡充を図る。</p>								

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7595）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国内交流推進事業	1,905	3,084	△1,179				1,905	
トータルコスト	7,466千円（前年度・3,889千円）[正職員：0.7人]							
主な業務内容	市町村が実施する国内交流事業等への人的支援や助言、補助金業務							
工程表の政策目標（指標）	既存の地域間ネットワーク及び本県が持つ地勢的優位性を活かすべく戦略的な連携を構築							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

交流人口の増加及び地域の活性化を図るため、全国各地にある鳥取県とゆかりのある地域と県内の市町村との交流を推進する。

2 主な事業内容

市町村が新たに行う交流事業や複数の市町村が連携する事業等の立ち上げを支援する。

（新規）国内交流トライアル補助金 1,500千円

対象事業	市町村が新たに行う国内交流事業（既存の交流分野の拡充を含む）
事業実施主体	県内市町村（複数市町村による連携含む）
補助率	1/2（上限額500千円）
補助対象経費	事業を実施するため必要な経費（旅費、謝金、委託料、使用料等） ※ 相互交流を支援するため、2年間にわたり支援可能とする。

※ 新たな交流事業の実施にあたっては、別途県として市町村のニーズに応じた支援を行う。

- ・ 交流地域等への事前調査への同行
- ・ 県外本部による支援（県外での行事参加や情報発信、交流先との連絡調整） 等

3 これまでの取組状況、改善点

○県外本部や県庁各課と連携しながら、市町村等の活動の支援をしてきた。

○平成24年度は、北海道との交流事業を実施した。伝統芸能団の派遣、現地伝統芸能団との交流会等により、伝統芸能の継承、技術の研鑽、交流の機運の醸成など一定の成果もあった。

○市町村等の交流は、地域全般の幅広い活性化の契機ともなり得るため、県としても、改めて積極的に国内交流の促進を目指し、市町村のニーズに応じた支援体制を整える。

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

1目 企画総務費

交流推進課（内線：7240）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
ロシア極東地域交流推進事業	3,965	3,773	192				3,965	
トータルコスト	20,647千円（前年度 23,083千円）[正職員：2.1人]							
主な業務内容	沿海地方及びハバロフスク地方との連絡調整、県内で実施する交流事業の企画・立案、資料の翻訳、関係部署との連絡調整、来県者への随行、通訳等							
工程表の政策目標（指標）	既存の地域間ネットワーク及び本県が持つ地勢的優位性を活かすべく戦略的な連携を構築							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>ロシア極東地域での本県の認知度を高め、友好交流関係を発展させるため、「青少年交流」、「交流地域での鳥取県PR」、「県民向けのロシア紹介」を柱とする取組を実施する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 青少年交流 (1,500千円)</p> <p>①沿海地方青少年環境交流団の鳥取県訪問 県内環境団体との交流プログラム等の実施（7月頃）</p> <p>②青少年柔道交流団の沿海地方派遣 ロシア柔道選手との合同練習、日本人指導者による講習会等の実施（8月頃）</p> <p>③ロシア極東地域日本語履修者交流団の鳥取県訪問 将来の鳥取県サポーターを育成するため、対日関心の高い青少年を招聘して、ロシア極東市場に係る意見聴取（マーケットリサーチへの協力）、県内大学生との交流、鳥取県の紹介、文化体験等を実施（12月頃）</p> <p>(2) 交流地域での鳥取県PR (1,565千円)</p> <p>・鳥取県文化デイズ（仮称）の開催 沿海地方及びハバロフスク地方において、本県の伝統文化をテーマとした公演・展示会を開催する。（10月頃） なお、実施にあたっては、他部局のロシア関連事業と一体的に行う。 （例示）・極東農業・食品展への出展（9月-10月、ウラジオストク） ・ダリアグロ食品工業展示会への出展（10月中旬、ハバロフスク）</p> <p>(3) 県民向けのロシア紹介 (900千円)</p> <p>①国際交流員によるロシア講座 ロシア人国際交流員が公民館、学校等の団体を訪問し、ロシアの歴史・習慣・文化・教育・ロシア語等の紹介を行うとともに、ロシア料理・手芸体験等を実施する。（通年）</p> <p>②ロシアの芸能披露 ロシアの芸能集団（サーカス雑技団、ロシア民謡団等）を招聘し、芸能公演を開催するとともに、学校訪問等を実施する。（秋頃）</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>(1) 沿海地方においては、様々な分野の交流事業等を実施したことにより、鳥取県の認知度は非常に高くなっている。この状態を維持・発展しつつ、更なる関係強化が必要である。</p> <p>(2) ハバロフスク地方においては、両地域の交流の歴史がまだ長くないこともあり、鳥取県の認知度は徐々に浸透している段階であり、更なるテコ入れが必要である。</p> <p>(3) 県民向けのロシア紹介により、県内におけるロシア並びに極東地域に対する認知度は徐々に高まってきている。</p>								

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課 (内線：7842)

1目 企画総務費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
韓国交流推進費	5,331	6,285	△954				5,331	
トータルコスト	22,013千円 (前年度23,182千円) [正職員：2.1人]							
主な業務内容	韓国江原道との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料翻訳、来県者の随行・通訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体支援等							
工程表の政策目標(指標)	既存の地域間ネットワーク及び本県が持つ地勢的優位性を活かすべく戦略的な連携を構築							
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の目的・概要</p> <p>韓国江原道との交流を推進するため、鳥取県及び江原道職員の相互派遣等を通じた様々な分野における情報交換等を行う。併せて、琴浦町の日韓友好資料館の展示運営を支援するとともに、韓国語発表大会を開催する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 江原道職員の受入や交流協議団の相互派遣等 (3,501千円)</p> <p>(2) 日韓友好資料館企画運営委員会への助成 (804千円) 琴浦町が設置している日韓友好資料館の企画・運営に係る経費への助成</p> <p>(3) 「話してみよう韓国語」鳥取大会の開催 (1,026千円) 韓国文化院(大阪)と共催で、寸劇(スキット)形式の韓国語発表大会を開催し、将来の韓国交流を担う人材の育成と県民の国際理解を促進する。 (開催時期：平成25年12月頃(予定)、会場：県内、運営業務：国際交流財団に委託)</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>○江原道とは、毎年度、職員研修の一環として職員の相互派遣(各1名)を実施しており、これまでに派遣16名、受入17名の実績がある。相互派遣を通じ、両県道の行政制度等をはじめとする相互理解の促進、人的ネットワークの形成、そして更なる友好関係の構築に寄与してきている。</p> <p>○県内の日韓交流の情報発信拠点である日韓友好資料館の企画運営に参画し、広報、展示内容の更新などの実施による資料館の魅力作りに寄与している。</p> <p>○学習者と指導者そして周りの方々に韓国語を学ぶ楽しさを感じていただくため、2005年から鳥取大会を実施している。本県は江原道と幅広く交流し、日韓交流の優秀事例と言われるまでとなっているが、当大会は県民の方々に韓国をさらに身近に感じていただくことができる機会であり、また、韓国語学習者の方々にとっては韓国語を学ぶ楽しさを感じ、その成果を発表いただく良い機会ともなっている。</p>								

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7122）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
中国交流推進事業	3,666	5,882	△2,216				3,666	
トータルコスト	10,021千円（前年度 12,319千円） [正職員：0.8人]							
主な業務内容	河北省及び吉林省との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料翻訳、来県者の随行・通訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体支援等							
工程表の政策目標（指標）	既存の地域間ネットワーク及び本県が持つ地勢的優位性を活かすべく戦略的な連携を構築							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

- 吉林省との交流を推進するため、青少年芸能交流団の派遣を行う。
- 河北省との交流を推進するため、まんが・アニメをテーマとした交流協議団の派遣を行う。

2 主な事業内容

	吉林省との交流	河北省との交流
時 期	8月上旬（予定）	9月下旬（予定）
参加者	県内高校生	県内の漫画・アニメ関連団体関係者等
内 容	吉林省で開催される青少年芸能交流事業に青少年芸能団を派遣し、次世代の国際交流を図るとともに、鳥取県の知名度向上を図る。	河北省石家荘市で毎年開催される国際動漫博覧交易会に合わせて交流協議団を派遣し、現地関係機関との協議を通じて、まんが・アニメ分野での交流の方向性について検討する。
事業費	2,631千円	1,035千円

3 これまでの取組状況、改善点

○本県と両省の青少年交流では、芸能・卓球などの専門分野はもちろん、教育や文化・生活の違いを肌で感じられるよう、青少年間の交流の機会を多く持ち、次世代の国際交流を担う人材育成を図っている。

- ・吉林省とは平成21（2009）年の交流15周年以降、毎年夏に青少年芸能団を派遣し、芸能公演による青少年交流を行っている。（平成21（2009）年は日中韓、22（2010）年は日中、23（2011）年・24（2012）年は日中韓口蒙が参加。）
- ・河北省とは、日中国交正常化の周年行事として日中友好協会等が主催で5年毎に開催されている「友好都市卓球交歓大会」に毎回合同チームを結成して参加し、青少年スポーツ交流を図っている。（直近では、国交正常化40周年に当たる平成24（2012）年に県内中学生2名を派遣）

○また、河北省との交流では、平成23（2011）年の友好提携25周年記念事業でのトップ会談の結果を踏まえ、これまでの交流の継続的な推進に加えて、まんが、アニメ分野での交流など両県省に共通する新たな施策分野での交流を推進していく。

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

1目 企画総務費

交流推進課（内線：7122）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
モンゴル中央県交流推進事業	2,332	2,841	△509				2,332	
トータルコスト	8,687千円（前年度 9,278千円）[正職員：0.8人]							
主な業務内容	モンゴル中央県との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料翻訳、来県者の随行・通訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体支援等							
工程表の政策目標（指標）	既存の地域間ネットワーク及び本県が持つ地勢的優位性を活かすべく戦略的な連携を構築							
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の目的・概要 モンゴル中央県との交流を推進するため、農業技術研修員及び行政実務研修生の受入、農業専門家、交流協議団の派遣を行う。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 農業研修員の受入（890千円） 時期：9月～10月（2ヶ月程度） 人数：1名 内容：農業大学校で野菜栽培等の技術研修を行う。</p> <p>(2) 農業専門家の派遣（800千円） 時期：7月下旬（1週間程度） 人数：1名 内容：中央県内の町に行き、現地で野菜栽培技術等を指導する。</p> <p>(3) 行政実務研修生の受入（642千円） 時期：12月中旬（1週間程度） 人数：3名 内容：中央県が希望する分野での行政実務研修を行う。</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>○モンゴル中央県とは平成9（1997）年に友好交流の覚書に調印し、鳥取県モンゴル中央県親善協会等の民間団体と協力しながら、青少年や農業分野の交流を進めてきた。</p> <p>○平成19（2007）年には本県で「友好交流10周年記念事業」を開催。新たに医療分野の交流を覚書に盛り込み、平成22（2010）年からJICAの協力を得て医療技術協力を3ヶ年実施。今後、妊産婦（母体）死亡数の低減など妊産婦医療の分野で効果を確認し、引き続き可能な医療交流の分野について調整を行う予定。</p> <p>○歴代農業研修員の多くは、鳥取での研修成果を活かして地域の農業技術指導に取り組み、鳥取県とのパイプ役としても活躍している。また農業専門家派遣では、現地の農業指導者が対応できていない課題に取り組み、中央県の農業普及活動に貢献している。</p> <p>○行政研修生受入は、中央県の行政力向上に寄与するとともに、鳥取県への理解の促進、人的ネットワークの形成、更なる友好関係の構築に寄与している。</p>								

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課 (内線: 7122)

1目 企画総務費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
台湾交流推進事業	3,300	4,175	△875				3,300	
トータルコスト	7,272千円 (前年度 8,198千円) [正職員: 0.5人]							
主な業務内容	台湾との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料翻訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体支援、来県者随行、通訳等							
工程表の政策目標(指標)	既存の地域間ネットワーク及び本県が持つ地勢的優位性を活かすべく戦略的な連携を構築							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>台湾台中市との青少年交流を通じた相互理解、国際理解をさらに促進させるため、サマースクール団の受入れを行う。</p> <p>また、台中市での本県の知名度向上と交流機運の醸成を目的に、台中市へ芸能団を派遣する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 台中市への中学生サマースクール団受入 (1,000千円)</p> <p>時期 7～8月頃 6泊7日 (予定)</p> <p>人数 小中学生20名程度</p> <p>内容 学校訪問、ホームステイ、視察など</p> <p>(2) 台中市への芸能交流団派遣 (1,700千円)</p> <p>時期 2月頃 3泊4日 (予定)</p> <p>人数 県内で活動する伝統芸能団 12名程度</p> <p>内容 ランタンフェスティバルでの芸能演奏</p> <p>(3) 台中市への交流協議団派遣 (600千円)</p> <p>時期 1～2月頃 3泊4日 (予定)</p> <p>人数 4名程度</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>○本県と旧台中県は梨穂木の取引を縁に交流を始め、トップ同士の往来を機に、文化や青少年等の分野にも交流の裾野を広げてきた。平成22(2010)年末に台中縣市が合併したが、平成24(2012)年1月の知事訪台時、台中市長との会談で交流の継続と発展を確認したところ。</p> <p>○サマースクール団は毎年交互に派遣を行い、双方の子ども達にとって貴重な国際理解体験の機会となっている。24年度の派遣では、子どもたちの体験を報告書にまとめ、県内の子ども会に配布し、成果の共有を図った。</p> <p>○台湾では旧正月に合わせて各地でランタンフェスティバルが開催され、ここ例年台中市側より芸能団派遣の要請がある。これまでに三徳山行者太鼓保存会えん太と米子がいな万灯振興会を派遣したところ共に大きな反響があり、鳥取県の知名度向上に貢献している。</p>								

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
 2項 企画費
 1目 企画総務費

交流推進課 (内線: 7122)
 (単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
自治体職員協力交流事業	7,057	7,107	△50				7,057	
トータルコスト	8,646千円 (前年度 8,716千円) [正職員: 0.2人]							
主な業務内容	行政研修員受入に係る研修機関等との連絡調整、受入業務の委託団体との契約事務等							
工程表の政策目標 (指標)	既存の地域間ネットワーク及び本県が持つ地勢的優位性を活かすべく戦略的な連携を構築							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 本県の友好交流先である海外自治体 (韓国江原道、中国吉林省) の職員を「協力交流研修員」として受け入れるもの。県庁各課において、本県が持つ知識や技術を習得させるとともに、派遣元自治体と人的交流を深めることで、本県の国際交流施策への協力を得る。</p> <p>2 主な事業内容 (1) 受入人数: 2名 (予定: 韓国江原道1名、中国吉林省1名) (2) 受入時期: 5月下旬に来日し、全国市町村国際文化研修所 (JIAM) で約1ヶ月の日本語研修。その後、6月下旬に来県してから翌年3月中旬の帰国まで、県庁等で専門研修。</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点 ○平成8 (1996) 年から受入を開始し、中国吉林省、韓国江原道からの研修員を中心に今年で計27名を受け入れている。(内訳: 吉林省13名、江原道10名、その他4名) ○研修員は帰国後も、本県と派遣元地域との交流を継続し、深めていくうえで欠かせない人材となっている。今後も事業を進めていくうえで本県と派遣元地域の交流促進において中心となるような人材に参加してもらうことが必要。</p>								
国際交流員等活用事業	69,170	68,014	1,156			(雑入) 257	68,913	
トータルコスト	74,731千円 (前年度 72,037千円) [正職員: 0.7人、非常勤職員: 13.0人]							
主な業務内容	国際交流員の雇用・民間国際交流事業への派遣・研修の企画実施等							
工程表の政策目標 (指標)	・既存の地域間ネットワーク及び本県が持つ地勢的優位性を活かすべく戦略的な連携を構築 ・多様な主体による交流の更なる促進							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 JETプログラム (外国青年招致事業) によって招致する国際交流員及び県独自の採用による国際交流員を配置し、地域レベルの国際交流の進展を図り、もって地域の国際化を促進する。</p> <p>《国際交流員の国別内訳》 韓国5名、中国2名、ロシア2名、モンゴル1名、英語圏1名、台湾2名 計13名</p> <p>2 主な事業内容 (1) 13名の国際交流員を配置し、交流地域との間の交流事業において通訳、翻訳、連絡調整等を行うとともに、小学校、公民館等の要請を受けて国際理解講座等を実施し、地域住民の国際理解の推進を図る。 (2) 県内に配置された国際交流員、外国語指導助手を対象に、県主催で新規来日者説明会、中間研修、通訳・翻訳研修 (国際交流員のみ対象) などの研修を実施し、参加者の能力向上や業務の円滑化を図る。</p>								

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

1目 企画総務費

交流推進課（内線：7030）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
ブラジル交流促進事業	12,679	13,387	△708				12,679	
トータルコスト	24,595千円（前年度 27,065千円）[正職員：1.5人]							
主な業務内容	研修員・留学生受入に係る研修機関等との連絡調整、受入業務の委託団体との契約事務、ブラジルにおける日本語指導・地域での交流活動、日本語指導員の派遣等							
工程表の政策目標（指標）	既存の地域間ネットワーク及び本県が持つ地勢的優位性を活かすべく戦略的な連携を構築							
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の目的・概要</p> <p>母県とブラジル鳥取県人会との今後の交流の継続・発展並びに更なる民間交流の促進を図るため、各種の交流事業を実施する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 技術研修員受入事業（4,486千円）</p> <p>ブラジルに在住する鳥取県出身者の子弟に対し、本県における技術研修の場を設け、ブラジルでの社会的・文化的・経済的地位の向上を図る。（1名、受入先：行政機関、県内企業等）</p> <p>(2) 留学生受入事業（3,880千円）</p> <p>ブラジルに在住する鳥取県出身者の子弟に対し、本県における修学の場を設け、ブラジルでの社会的・文化的・経済的地位の向上を図る。（1名、受入先：大学・研究機関）</p> <p>(3) 中堅リーダー交流事業（1,063千円）</p> <p>ブラジルから中堅リーダーを受け入れて、県内のブラジル交流団体とブラジル鳥取県人会との交流や意見交換を通じ、民間主体による自立した交流の活性化を図る（2名）。</p> <p>(4) 日本語指導員派遣事業（3,250千円）</p> <p>ブラジル・サンパウロ州にある第二アリアンサ鳥取村へ日本語指導員（教員1名）を派遣し、現地での日本語指導及び日本・本県の文化紹介等を行うことにより、ブラジルとの交流や本県の国際理解教育を推進する。</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>○留学生受入事業は昭和40年から60名、研修員受入事業は昭和63年度から35名を受け入れている。これらの事業により、留学生・研修生には専門的な知識・技術を学ぶことはもとより、日本語・日本文化を学ぶ機会にもなっており帰国後のブラジル移住者の地位向上に貢献しているといえる。</p> <p>○加えて、研修員・留学生には、地域で開かれる国際交流イベント等に参加したり、伝統芸能を習得してもらったり、また、地域住民と交流する機会も多数持ってもらっている。</p> <p>○また、これまで本事業に参加したOBやOGが、ブラジルに帰国した後、ブラジル鳥取県人会において積極的に活動に参加し、自らが鳥取で経験したこと、感じたことなどを伝え後輩の育成などを行っている。</p> <p>○このほか、中堅リーダー（平成15年度～派遣12名・受入10名）、日本語指導員派遣事業（平成6年度～派遣10名）についても、世代交代が進む本県出身在住者の活動を活性化させるものとして、関係団体からの評価も高い。</p>								

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課 (内線：7030)

1目 企画総務費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県国際交流財団助成事業	47,876	48,295	△419				47,876	
トータルコスト	52,642千円 (前年度 53,123千円) [正職員：0.6人]							
主な業務内容	補助金の審査・交付・検査、各補助事業への助言等							
工程表の政策目標(指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な主体による交流の更なる促進 ・本県に在住(滞在)する外国人への支援の充実 ・既存の地域間ネットワーク及び本県が持つ地勢的優位性を活かすべく戦略的な連携を構築 							
事業内容の説明								
<p>1. 事業の目的・概要</p> <p>本県における国際交流推進の基盤づくりと国際交流活動の支援を行うため、公益財団法人鳥取県国際交流財団が実施する各種事業に対して助成を行う。</p>								
<p>2. 主な事業内容</p> <p>(1) 公益財団法人鳥取県国際交流財団への助成 47,076千円</p> <p>①管理運営事業 (31,039千円、補助率10/10)</p> <p>地域国際化の拠点としての財団事務所を運営するために必要な人件費、光熱水費等の管理運営費、在住外国人の相談業務等を行う国際交流調整担当者の設置に要する経費</p> <p>②情報収集提供事業 (1,214千円、補助率1/2)</p> <p>機関誌の発行、財団及び民間団体が実施する事業などの情報提供(年4回各2,000部発行)、ホームページ運営、メールマガジン配信に要する経費</p> <p>③交流活動支援事業 (143千円、補助率1/2)</p> <p>ホームステイ受入講座の開催や受入家族のボランティア活動保険加入等により、ホームステイの活性化を促進</p> <p>④国際化推進事業 (705千円、補助率1/2)</p> <p>子どものための異文化理解講座(出張型20回程度、公募型1回)等を開催し、在住外国人と地域住民との相互交流を促進</p> <p>⑤多文化共生支援事業 (1,499千円、補助率1/2)</p> <p>民間団体等への多文化共生出前講座、在住外国人向け防災セミナー、地域での通訳・医療通訳ボランティアの養成や派遣等、多文化共生社会実現のための取り組みを支援。</p> <p>⑥米国バーモント州との青少年交流促進事業 (8,638千円、補助率10/10)</p> <p>県内の高校生を対象に米国バーモント州に派遣し、そこで交流のあった同州の高校生を受け入れる相互交流事業を実施する。</p> <p>⑦在住外国人支援事業 (3,838千円、私費留学生奨学金は補助率10/10、その他は1/2)</p> <p>在住外国人向けの日本語学級の実施、日本語講師・ボランティア養成講座の実施、私費留学生に対する奨学金支給に要する経費</p> <p>(2) 事務費 800千円</p>								
<p>3. これまでの取組状況、改善点</p> <p>○在住外国人及び県民の国際交流・各種相談への多様化するニーズに対応するため、鳥取県国際交流財団においても常設の相談体制に加えて県内各地での活動を積極的に進めているところである。</p> <p>○保育園や学校、行政機関窓口等で各種手続きや相談をする際の言葉の支援を行うコミュニティ通訳ボランティア派遣制度を平成24年9月より開始し、現在、49名が登録されている。平成25年度は積極的に制度周知を行うとともに制度の定着を図る。</p> <p>○平成24年度には「やさしい日本語版防災ハンドブック」を作成、平成25年度は「外国人のための防災セミナー(仮称)」を実施予定であり、在住外国人の防災対策の推進を図る。</p>								

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7123）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
交流ネットワーク活用事業	16,141	17,002	△861			(収益事業収入) 6,000	10,141	
トータルコスト	18,524千円（前年度 17,807千円）[正職員：0.3人]							
主な業務内容	情報提供業務の委託、県外事務所との連携による全国の県人会（17カ所）や県出身者との連絡調整、市町村が実施する交流事業に対する助言、所管する公益法人に関する指導監督等							
工程表の政策目標（指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の地域間ネットワーク及び本県が持つ地勢的優位性を活かすべく戦略的な連携を構築 ・多様な主体による交流の更なる促進 							
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の目的・概要</p> <p>海外や県外において鳥取県とゆかりのある外国人や県人会といった交流組織を活用し、効果的な鳥取県情報の発信を行うことにより、交流の活発化を図る。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 世界とっとりファンクラブ会員等への情報提供等委託（1,000千円） 世界とっとりファンクラブ会員（国際交流員等で鳥取県に一定期間滞在した外国人）等へ鳥取県の最新情報を提供し、居住する世界各地で鳥取県のPRを依頼する。</p> <p>(2) 県外県人会等との協働による情報発信（571千円） 県人会等とともに県外各地で開催される各種催事に参加するとともに、県人会等が行う鳥取県のPR活動に対する郷土芸能団等の派遣等を行う。</p> <p>(3) 自治体国際化協会の分担金（6,000千円） （財）自治体国際化協会（地域の国際化を推進する地方公共団体の共同組織）が設置する海外事務所の運営費用等に係る分担金を負担する。</p> <p>(4) 海外県人会助成事業（1,000千円）（補助率 10/10） 海外に在住する鳥取県出身者の親睦と福祉の向上をはかるために組織されている三つの海外県人会に対し、活動を支援するための助成を行う。</p> <p>(5) 青少年国際協力支援事業（720千円）（補助率 10/10） 青年海外協力隊鳥取県OV会が開催する帰国報告会の開催等に助成を行う。</p> <p>(6) 事務費（6,850千円）</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>○世界とっとりファンクラブ会員等への情報提供 ファンクラブ会員が鳥取県をPRするために必要な写真、資料等の提供、ファンクラブ会員に向けた鳥取県の情報発信、ファンクラブ会員の活動状況の調査を行っている。ファンクラブ会員は、送付された資料や写真を使って家族、友人、同僚に口コミや個人のブログで鳥取県をPRしていただいている。</p> <p>○市町村、県外県人会等との協働による情報発信 各県人会総会へ出席し、鳥取県の情報発信を行うとともに、ふるさと納税などへの協力を依頼している。毎年、広島市で開催される「都道府県対抗男子駅伝」に広島県人会、境港市等とともに参加し、郷土芸能団の派遣などにより鳥取県の情報発信を行っている。</p>								

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課 (内線：7108)

1目 企画総務費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
パスポート発給事務費	29,505	29,660	△155			(手数料) 25,000	4,505	

トータルコスト 43,804千円 (前年度 48,166千円) [正職員：1.8人]

主な業務内容 旅券に係る申請受付・審査・作成及び交付等

工程表の政策目標(指標) パスポート発給における県民の利便性向上

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

旅券法に基づき、一般旅券(パスポート)の申請受理、作成及び適正な交付を行う。

2 主な事業内容

(1) 概要

県庁・中部総合事務所・西部総合事務所・日野町役場・日南町役場・江府町役場・境港市役所・倉吉市役所の8箇所に窓口を設け、県民からの一般旅券申請の受理、審査、作成及び適正な交付を行う。

《委託業務の概要》

①委託対象業務

電話案内、申請・交付窓口業務及び作成業務等

②委託対象外業務

旅券発給(法定受託事務)を確実に実施するために必要な業務

○作成の最終審査

○慎重かつ迅速かつ適正な対応が特に必要とされる高度な業務(判断困難事案、緊急発給事案、不正取得防止対応)等

③委託期間

平成25年4月1日から5年間(平成25～29年度)

《窓口の開設時間》

平成25年度	区分	県庁	西部	中部	倉吉市	境港市	日野町	江府町	日南町
申請	月～金	8時30分～18時30分	8時30分～17時			8時30分～17時15分			8時15分～17時
	交付	月～金	8時30分～18時30分		申請と同時間				
年度	日	8時30分～17時	-		-				

(2) 事業費 29,505千円

(委託料28,000千円、備品購入費30.5千円、事務費1,200千円)

3 これまでの取組状況、改善点

○平成22年度においては、更なる県民利便の向上を図るため、県庁、中部、西部の窓口の一部を民間へ委託し、窓口の開設時間を延長。

○申請・・・＜県庁＞平日時間延長(17時00分→18時30分)

○交付・・・＜中部＞平日時間延長(17時00分→18時30分)

○また、住民に身近な行政は住民に身近な地方公共団体で行うという地方分権の基本理念に立ち、より住民利便の向上を図ることができるよう、平成22年度は日野郡3町へ、平成23年度は境港市へ、平成24年度は倉吉市へ権限移譲を実施した。

《参考》平成23年度パスポート発給実績

本庁5,461件、中部2,092件、西部4,478件

境港市592件、日南町56件、日野町48件、江府町25件

県内計12,752件

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7842）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国際関係調整費	19,200	20,000	△800				19,200	
トータルコスト	35,088千円（前年度 36,092千円）[正職員：2.0人]							
主な業務内容	各国からの訪問に係る関係機関・関係部署等との連絡調整、受入資料の作成、訪問団等の受入、課内外の業務の連絡調整、課内業務の総括等							
工程表の政策目標（指標）	既存の地域間ネットワーク及び本県が持つ地勢的優位性を活かすべく戦略的な連携を構築							
事業内容の説明								
<p>1. 事業の目的・概要</p> <p>環日本海諸国等への各種訪問団派遣、及び各国からの各種訪問団の受入等に機動的に対応するために要する経費（主に事務費）</p> <p>2. これまでの取組状況、改善点</p> <p>予算計上のない臨時的な交流事業に対しても迅速かつ機動的に対応することができ、友好交流地域との更なる友好増進に寄与している。</p>								
（廃止）北東アジア 3 地域連携交流事業	0	6,487	△6,487					
トータルコスト	0千円（前年度 12,924円）							
事業内容の説明								
<p>（廃止）</p> <p>より広域的な連携強化を図るため、「東アジア多地域連携交流事業」に組み替える。</p>								
（廃止）第17回北 東アジア地域国際 交流・協力地方政府 サミット開催事業	0	27,763	△27,763					
トータルコスト	0千円（前年度 39,832千円）							
事業内容の説明								
<p>（廃止）</p> <p>平成25年度はロシア沿海地方において開催するため参加事業とし、開催事業としては終了する。</p>								

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

1目 企画総務費

交流推進課 (内線: 7842)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(廃止) ブラジル鳥取県人会創立60周年記念事業	0	600	△600					
トータルコスト	0千円 (前年度 4,623千円)							
事業内容の説明 (廃止) 平成24年度にブラジル鳥取県人会創立60周年記念事業を実施し、事業終了したことによる。								
(廃止) モンゴル中央県友好交流15周年記念事業	0	2,505	△2,505					
トータルコスト	0千円 (前年度 6,528千円)							
事業内容の説明 (廃止) 平成24年度にモンゴル中央県との友好交流15周年記念事業を実施し、事業終了したことによる。								

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費（県民局分は地方機関計上予算）

観光政策課（内線：7239） 国際観光推進課（内線：7221）

中部総合事務所県民局（電話：0858-23-3186）→事業実施：中部総合事務所地域振興局

西部総合事務所県民局（電話：0859-31-9709）→事業実施：西部総合事務所地域振興局

日野総合事務所県民局（電話：0859-72-2082）→事業実施：西部総合事務所日野振興センター日野振興局

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
とっとりスタイル エコツーリズム普及 推進事業	62,230	38,060	24,170				62,230	
トータルコスト	77,324千円（前年度 52,543千円）[正職員：1.9人]							
主な業務内容	補助金交付事務、実施主体との連絡調整等							
工程表の政策目標（指標）	地域自らが、自然、温泉、歴史、食、文化、人物等に着目し、知恵と力を結集させて地域資源を磨き、行政がその取組内容に応じたサポートをする。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<p>近年、自然環境や文化遺産等に親しむ体験型観光への需要が高まるなか、本県が今年展開する「グリーンウェイブ」の取組と連動して、鳥取ならではの素材を活かした観光商品の開発・普及を促進し、地域資源の保全と観光収入の確保が両立する持続可能な観光地づくりを進める。</p>								
2 主な事業内容								
【I 国内誘客対策15,000千円】（観光政策課）								
<p>地域資源の観光メニュー化や規模拡大等を行う団体を支援するとともに、旅行会社やNEXCO西日本と連携した情報発信や販売促進を行う。</p>								
(1) 観光メニューの造成やガイド育成等の取組に対する補助（導入型）5,000千円								
補助対象事業者	NPO、市町村観光協会など							
補助率等	1/2（上限500千円）							
(2) 人材育成を核とした体制整備や規模拡大の取組に対する補助（規模拡大型）7,500千円								
補助対象事業者	NPO、市町村観光協会など							
補助率等	1/2（上限2,500千円）							
(3) 体験型教育旅行の誘致促進 2,000千円								
<p>県外旅行会社等を対象とした現地視察研修会の開催などを観光連盟に委託する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地視察研修会 5人程度×約3回 ・農林漁家等を対象にした受入研修会等 50人程度×約2回 								
(4) NEXCO西日本と連携したカードラリーの実施 500千円								
<p>高速道路を活用した観光誘客を行うため、NEXCO西日本と西日本の各県が共同で実施するカードラリー「やまところ周遊記」に参加する。</p>								

【Ⅱ（新）海外誘客対策 14,140千円】（国際観光推進課）

海外向けの観光メニューの造成、受入環境整備及び情報発信等を民間事業者等と連携して進める。

(1) 海外向け商品造成・受入環境整備等の取組に対する補助 5,240千円

(内訳：補助金5,000千円、事務費240千円)

補助対象事業者	NPO、市町村観光協会など
補助率等	1/2（上限2,500千円）

(2) 海外誘客対策 8,900千円

①情報発信 5,100千円

重点市場（韓国、台湾）への情報発信

- ・海外メディアのホームページに鳥取県観光情報を掲載（台湾：通年）
- ・旅行会社の行う広告に併せ、県がタイアップ広告を掲載（3社×2カ国、8～9月頃）

②アウトドアメーカー等との連携 3,800千円

有名アウトドアメーカー等と連携した旅行商品の販売促進

- ・会員向けモニターツアー（20名程度×2回）
- ・ホームページ等への本県観光情報掲載（韓国：通年）

【Ⅲ ウォーキングリゾート整備 4,400千円】

(中部総合事務所県民局 → 事業実施：中部総合事務所地域振興局)

県中部を中心にしたウォーキングコース整備や、ウォーキング大会の支援・誘致等を計画的に行い、ウォーキングリゾートの基盤を整備する。

(1) (新) 東郷湖周回コースの環境整備 1,600千円

ウォーキングリゾートの中核となる東郷湖周回コースを、国際的にも通用するコースとして整備する。

- ・ロゴマークの製作（県内ウォーキング団体へ委託）
- ・看板整備計画の策定（ " " ）

(2) 地元大会への支援 2,000千円

ウォーキングリゾートとしてのブランド構築に繋げるため、地元で開催される2大会の開催を支援する。

大会名	SUN-IN 未来ウオーク (倉吉市ほか)	SUN-IN 未来 100 kmウオーク (湯梨浜町ほか)
事業主体	未来ウオーク実行委員会	NPO法人未来
補助率等	1/2（上限1,000千円）	1/2（上限1,000千円）

(3) (新) ワールドトレールコンファレンス (WTC) の誘致 800千円

平成26年のWTC誘致を目指し、韓国のウォーキング団体・観光関係機関等とのネットワークづくりやPR活動を行うNPOを支援する。

事業主体	NPO法人未来
事業内容	韓国のウォーキング団体・観光関係機関等とのネットワークづくりやPRのための訪韓、キーマン招へい等
補助率等	1/2（上限800千円）

※WTC・・・遊歩道を活用したグリーン観光産業の活性化やコース開発等に向けて、世界各国から関係者が集まる会議。2010年に始まり、2012年は韓国済州島で開催され、17カ国47団体が参加した。

【IV スポーツツーリズムの推進 25,000千円】

(西部総合事務所県民局 → 事業実施：西部総合事務所地域振興局)

大山中海圏域におけるサイクリングの環境整備及びサイクリング関連のイベントの開催支援を行い、スポーツツーリズムの進展を目指す。

- (1) サイクリングロード路面標示整備 10,000千円
ラムサール条約湿地・中海周遊コース(全長約68km)のうち鳥取県内部分(全長約30km)において、約72か所に、進行方向等の路面標示を行う。(島根側(全長約38km)は、島根県が整備する予定。)
- (2) (新)サイクリングロード整備調査 5,000千円
白砂青松・弓浜半島コース(総延長約15km)の整備計画を策定する。
- (3) サイクリング支援体制の整備 1,500千円
トイレ・シャワーやパンク修理などのサービス体制整備を行う民間企業を支援する。

事業主体	合同会社皆生未来開発
補助率等	1/2 (上限1,500千円)

- (4) (新)自転車積載バスの整備 1,500千円
大山サイクリングの利便性向上のため、大山周遊バス(大山る～ぷバス)への自転車積載に要する経費を助成する。

事業主体	大山周遊バスを運行するバス会社
補助率等	バス1台当たり上限額 750千円

- (5) スポーツイベント開催支援 7,000千円
国内外から多くの誘客が見込め、大山中海圏域の観光振興に寄与するスポーツイベントの開催を支援する。

大会名	事業主体	補助額(定額)
全日本トライアスロン皆生大会	皆生トライアスロン協会	5,000千円
皆生・大山 SEA TO SUMMIT	皆生・大山 SEA TO SUMMIT 実行委員会	1,000千円
ツール・ド・大山	ツール・ド・大山実行委員会	500千円
(新)サイクルトレインイベント	サイクルトレインイベント実行委員会(仮称)	500千円

【V 「大人の学校 in 日野郡(仮称)」の開催等 3,690千円】

(日野総合事務所県民局 → 事業実施：西部総合事務所日野振興センター日野振興局)

「たたら」を始めとする日野郡の地域資源を活用した自然・文化体験型の観光・交流を推進する。

- (1) (新)「大人の学校 in 日野郡(仮称)」開校 2,700千円

事業主体	「大人の学校 in 日野郡」開校実行委員会(仮称)
事業内容	・モデルツアーとして京阪神等を募集地域として約30名を募集 ・日野郡の歴史、文化、自然等について小学校の廃校舎等で体験型の授業を実施 ・実施結果を踏まえ改良を加えた上で旅行会社に旅行商品として提案
補助率等	10/10 (上限2,700千円)

- (2) たたら学習会の開催 990千円
日野郡内外の住民を対象にした「たたら」に関する体験学習会を開催し、その価値の普及啓発を図る。(1回30人程度、約3回開催)

3 これまでの取組状況、改善点

鳥取県の自然を活かした観光誘客に取り組んできたが、人や自然とのふれあいなどを求めるエコツーリズムのニーズが高まっていることを受け、誘客促進の施策を拡充して取り組むこととした。

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課 (内線: 7237)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 温泉地を愉しむ空間創出プロジェクト支援事業	5,000	0	5,000				5,000	
トータルコスト	5,794千円 (前年度 0千円) [正職員: 0.1人]							
主な業務内容	補助金交付事務、連絡調整							
工程表の政策目標 (指標)	地域自らが、自然、温泉、歴史、食、文化、人物等に着眼し、知恵と力を結集させて地域資源を磨き、行政がその取組内容に応じたサポートをする。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

温泉入湯客、宿泊客が伸び悩む中で、選ばれる温泉地、温泉文化を愉しむ風情ある温泉地を目指して、県内の温泉関係者が地元自治体と連携して行う温泉地再興事業を支援する。

2 主な事業内容

県内の温泉関係者が地元自治体と連携して行う温泉地の振興計画策定や計画に沿った施設整備を支援する。

温泉地を愉しむ空間創出プロジェクト事業補助金

区 分	内 容
事業主体	温泉旅館組合、NPO、実行委員会 (旅館組合、観光関係者、NPO等が組織するもの) など
補助事業者	市町村
補助対象事業	<ul style="list-style-type: none"> ・将来像を踏まえた温泉地の総合計画策定 ・総合計画に沿った施設整備 ・既定の将来計画等に沿って緊急に行う施設整備 <p>(温泉地空間整備のイメージ) 風情ある温泉地のまちなみにふさわしい、一体感ある空間づくりに馴染むもので、足湯、ベンチ、街路灯、遊歩道、宿泊施設外観等の修景整備など</p>
補助率	市町村が補助する経費の1/2以内 (ただし、施設整備費のうち民間が所有するものにあっては全体事業費の1/3以内)
平成25年度 当初予算額	5,000千円 (内訳) 計画策定費 3,000千円 (2件程度) 施設整備費 2,000千円 (緊急分、2件程度)

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
 3 項 観光費
 1 目 観光費

観光政策課（内線：7237）
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 島根県との広域観光連携事業	10,000	0	10,000				10,000	
トータルコスト	13,178千円（前年度 0千円）[正職員：0.4人]							
主な業務内容	協議会運営、連絡調整、観光情報発信、誘客キャンペーンの実施							
工程表の政策目標（指標）	他県と連携してエリアとしての観光魅力を向上させ、国内外からの観光客誘致、滞在時間の延長を図る。							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>山陰文化観光圏（平成20～24年度）の取組や山陰デスティネーションキャンペーンの成果を継承し、スケールメリットを活かした広域情報発信、共同プロモーションを島根県と連携して展開することにより、山陰エリアを周遊する滞在型観光を促進する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>鳥取県、島根県及び両県の観光連盟、経済同友会で組織する「山陰観光協議会（仮称）」が行う誘客促進事業に要する経費を両県で負担する。</p> <p>〈実施主体〉</p> <p>山陰観光協議会（仮称）</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> 鳥取県、島根県、（社）鳥取県観光連盟、（社）島根県観光連盟、鳥取県経済同友会、島根県経済同友会で構成予定 </div> <p>〈事業内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○首都圏、関西、山陽などにおける共同プロモーション <ul style="list-style-type: none"> ・「旅フェア」等観光商談会への出展 ・旅行会社向け観光商談会の開催 ・雑誌、インターネットを活用したPR ○高速道路網整備（鳥取自動車道、松江自動車道開通）を契機とした周遊ルートの提案及び誘客キャンペーンの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・山陰大周遊ルートの提案、共同誘客キャンペーンの実施 （実施例：神話、温泉、食などをテーマとした周遊ルートの提案、特産物プレゼント） ・両県周遊マップの作成 （40,000部、高速道路SA、観光スポット、観光案内所等に配架） ・民間団体が行う受地整備事業への支援 （補助率1/2、支援例：体験メニュー造成、ガイド育成など） <p>〈総事業費〉</p> <p style="text-align: center;">20,000千円（本県負担金：10,000千円）</p>								

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

1 目 観光費

観光政策課（内線：7237）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 鳥取・岩手・徳島連携事業～怪フォーラム～	10,000	0	10,000				10,000	
トータルコスト	10,000千円（前年度 0千円）[正職員：0.0人]							
主な業務内容	フォーラム企画、運営、連絡調整							
工程表の政策目標（指標）	他県と連携してエリアとしての観光魅力を向上させ、国内外からの観光客誘致、滞在時間の延長を図る。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

妖怪文化の普及に貢献したとして「怪遺産」に認定されている鳥取県（境港市）・徳島県（三好市）・岩手県（遠野市）が連携して情報発信を図るため、「怪」をテーマにしたフォーラムを開催する。

2 主な事業内容

怪遺産に認定されている3地域（鳥取県・岩手県・徳島県）が連携して、「怪」をテーマにしたフォーラムを実施する。

区 分	内 容
開催地	境港市（水木しげるロード周辺）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「怪」遺産関連特別フォーラム ・まちあるき（水木しげるロードを中心に「まち」を活用） ・境港市、徳島県三好市、岩手県遠野市連携イベントの併催 ・妖怪ゆかりの地を巡るツアーの催行 ・食、伝統芸能、物産イベントの併催
開催時期	平成25年秋
事業費	10,000千円 [フォーラム・ワークショップ運営委託料 7,000千円 地域連携ブース（観光情報発信、食）運営委託料 3,000千円]

怪遺産・・・世界妖怪協会（会長：水木しげる氏）と、妖怪マガジン「怪」（角川書店）では、後世に残したい妖怪文化の普及に貢献した地域などを対象に「怪遺産」を認定している。鳥取県境港市は、認定地第一号。

3 参考（平成24年度事業）

「怪フォーラム・ふるさとの伝承がおしえてくれること」

日 時：平成24年9月22日（土・祝）

開催地：岩手県遠野市

内 容：第一部 無形のが宿るパワースポット

「怪遺産認定地知事鼎談」 進行役 荒俣宏氏

第二部 伝統芸能披露

第三部 物語の力

「物語朗読＋トークライブ」（宮部みゆき氏、京極夏彦氏）

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課（内線：7237）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考				
				国庫支出金	起債	その他	一般財源					
(新)とっとり観光新時代・宿泊促進WEB対策事業	18,500	0	18,500				18,500					
トータルコスト	19,294千円（前年度 0千円）[正職員：0.1人]											
主な業務内容	補助金対象者との連絡調整、補助金交付業務											
工程表の政策目標(指標)	マスコミへの露出拡大や観光キャンペーンの展開等により、本県の知名度向上を図る。											
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の目的・概要</p> <p>近年増加しているWEB宿泊サイトを活用した個人旅行者の県内宿泊の促進を目的として、宿泊予約利用が多いサイトを活用したキャンペーンを実施する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1)事業内容 鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合が行うWEB宿泊サイトを活用した情報発信及び誘客対策を支援</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">補助対象経費</td> <td>・ 個人向け大手宿泊サイト(上位3サイト)に、旬の観光素材等を紹介する「鳥取県特集ページ」や、鳥取県特設ページへ誘導する「バナー」を掲載する経費</td> </tr> <tr> <td>補助率等</td> <td>10/10 (上限額18,500千円)</td> </tr> </table> <p>(2)事業期間 平成25年6月から翌年3月まで</p> <p>*WEB宿泊サイト：目的地の旅館・ホテルなど宿泊施設の予約や価格比較、宿泊施設近隣の情報などが簡単に入手できるインターネット上のサイト (楽天トラベル、じゃらんNET、るるぶトラベルなど)</p>									補助対象経費	・ 個人向け大手宿泊サイト(上位3サイト)に、旬の観光素材等を紹介する「鳥取県特集ページ」や、鳥取県特設ページへ誘導する「バナー」を掲載する経費	補助率等	10/10 (上限額18,500千円)
補助対象経費	・ 個人向け大手宿泊サイト(上位3サイト)に、旬の観光素材等を紹介する「鳥取県特集ページ」や、鳥取県特設ページへ誘導する「バナー」を掲載する経費											
補助率等	10/10 (上限額18,500千円)											

平成25年度一般会計補正予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課 (内線: 7237)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)「ぐるっと山陰」誘客促進事業	20,000	0	20,000				20,000	
トータルコスト	20,000千円 (前年度 0千円) [正職員: 0人]							
主な業務内容	補助金交付事務							
工程表の政策目標(指標)	マスコミへの露出アップや観光キャンペーンの展開等により、本県の知名度向上を図る。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

平成24年度中には「鳥取自動車道」「松江自動車道」が全線開通し県内へのアクセス向上が図られる他、平成25年度は、「第30回全国都市緑化とっとりフェア(9月21日~11月10日)」「まんが王国とっとり」関係事業、山陰海岸の国立公園指定50周年など県内周遊を促進するイベントも実施されるため、宿泊数増加の好機であることから、旅行会社等に対するバス代、および旅行商品造成に対する支援を実施する。

* 平成24年度11月補正予算にて債務負担設定済

2 主な事業内容

(1) バス代支援

- ① 事業費 15,000千円(補助金)
- ② 事業内容 鳥取県観光連盟のプロモーター(都市部駐在員)を活用した、県外旅行会社へのバス旅行商品造成の働きかけ(バス1台当たり30千円程度を想定)
- ③ 事業期間 2月上旬(募集開始)~平成26年3月31日

【補助金概要】

交付対象者	鳥取県観光連盟
補助対象経費	支援条件を満たす旅行会社がツアー催行した場合の経費支援
補助率、限度額	10/10 15,000千円(定額)

(2) 旅行商品造成支援

- ① 事業費 5,000千円(補助金)
- ② 事業内容 鳥取県観光連盟のプロモーターを活用した、県外旅行会社への旅行商品造成の働きかけ(旅行商品造成1件あたり200千円程度を想定)
- ③ 事業期間 2月上旬~平成25年12月31日

【補助金概要】

交付対象者	鳥取県観光連盟
補助対象経費	支援条件を満たす旅行会社が旅行商品造成した場合の経費支援
補助率、限度額	10/10 5,000千円(定額)

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課（内線：7237）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考						
				国庫支出金	起債	その他	一般財源							
実感！近くて快適！鳥取県アクセス向上PR強化事業	9,000	500	8,500				9,000							
トータルコスト	10,589千円（前年度 500千円）[正職員：0.2人]													
主な業務内容	補助金対象団体との連絡調整、補助金交付事務													
工程表の政策目標（指標）	マスコミへの露出拡大や観光キャンペーンの展開等により、本県の知名度向上を図る。													
事業内容の説明														
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>平成24年度中には「鳥取自動車道」「松江自動車道」が全線開通し、関西、中京、中四国エリアから山陰へのアクセスが格段に向上し県内移動もスムーズになることから、山陰周遊を促進することで宿泊数の増加を目的としたキャンペーンを実施する。</p> <p>* 平成24年度当初予算にて債務負担設定済 （平成24年度 500千円、平成25年度 9,000千円）</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 事業費 9,000千円（補助金）</p> <p>(2) 事業内容 山陰周遊を目的とした自動車道開通キャンペーンの実施</p> <p>(3) 事業期間 3月中旬（WEB宿泊サイトでのキャンペーン実施）から2ヶ月間程度</p> <p>【補助金概要】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">交付対象者</td> <td>鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合</td> </tr> <tr> <td>補助対象経費</td> <td>全線開通される鳥取自動車道、および松江自動車道を活用して山陰を周遊し県内宿泊を促進するキャンペーンの実施</td> </tr> <tr> <td>補助率、限度額</td> <td>10/10 9,000千円（定額）</td> </tr> </table> <p>* WEB宿泊サイト：目的地の旅館・ホテルなど宿泊施設の予約や価格比較、および宿泊施設近隣の情報などが簡単に入手できるインターネット上のサイトのこと</p>									交付対象者	鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合	補助対象経費	全線開通される鳥取自動車道、および松江自動車道を活用して山陰を周遊し県内宿泊を促進するキャンペーンの実施	補助率、限度額	10/10 9,000千円（定額）
交付対象者	鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合													
補助対象経費	全線開通される鳥取自動車道、および松江自動車道を活用して山陰を周遊し県内宿泊を促進するキャンペーンの実施													
補助率、限度額	10/10 9,000千円（定額）													

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課(内線:7421)
(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県観光連盟運営費	(92,909) 80,110	(88,943) 78,525	(3,966) 1,585			(12,799)	(80,110) 80,110	
トータルコスト	81,699千円(前年度 80,134千円) [正職員:0, 2人]							
主な業務内容	負担金の交付、連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	-							

※上段()は商工労働部の緊急雇用創出事業計上分を含む額

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

(社)鳥取県観光連盟に対し、人件費の全額と事業費の1/2を負担するほか、緊急雇用創出事業を活用し、観光キャンペーンの実施及び商品造成の働きかけ・観光情報の発信等を行い積極的な誘客を図る等、観光客誘致に関する取組を強化する。

2 主な事業内容

(単位:千円)

事業名	予算額	事業概要
運営費負担金	80,110	人件費10/10、事業費1/2 (組織体制) 専務理事、事務局長、課長(2名)、 観光プロモーター(3名)、 書記(5名 ※緊急雇用2名含む) (事業内容) ○観光客誘致対策旅行商品強化事業 ・旅行会社招致事業 ・観光プロモーター活動事業 ○観光客誘客キャンペーン事業 ○会員等との誘客連携事業 ・他団体との協同・連携事業 ・主題別・地域別専門部会事業 ○情報発信・宣伝事業 ・観光情報収集、発信活動事業 ・とっとり観光親善大使活動事業 ・観光資料整備事業(観光ホームページ、観光パンフレット、 観光素材集等作成) ○受け地づくり支援事業 ・着地型旅行商品造成支援、相談対応・情報発信事業等

※緊急雇用創出事業

事業内容	雇用創出人数	事業費
SNS※を活用した観光情報発信事業	12ヶ月×1名 (平成24年3月から平成25年2月まで)	6,069千円
県外関係団体等と連携した広域観光キャンペーン及び商品造成	12ヶ月×1名 (平成25年4月から平成25年3月まで)	6,730千円

3 これまでの取組内容、改善点

- 平成21年度に鳥取県観光連盟のあり方の見直しにより、機動的な対応が必要な業務、民間事業者との連携が必要な業務などを段階的に移管し、平成24年度には観光商品造成支援業務、観光ホームページの運営及び観光パンフレット等の作成を移管した。
- 平成25年度には観光ニュースの発行、SNS※を活用した観光情報発信業務を移管する予定。

※SNSとは

Social Networking Service(ソーシャルネットワークサービス)の略。人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型の会員制のWEBサービスのこと。代表例としてFaceBook、mixi等がある。

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課 (内線: 7421)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
職員人件費	165,264	231,330	△66,066				165,264	
事業内容の説明 一般職員24名分の人件費								
観光振興費	37,820	48,377	△10,557			(使用料) 3 (手数料) 69 (雑入) 7	37,741	
トータルコスト	56,886千円 (前年度 67,687千円) [正職員: 2.4人、非常勤職員1.0人]							
主な業務内容	他府県や市町村との連絡調整、旅行業者の指導・育成、観光統計資料の調査・整理等							
工程表の政策目標(指標)	-							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 魅力ある観光地をつくり、観光による誘客を推進するため、より一層のもてなしの向上の取組等を推進するとともに、観光振興施策の企画・立案のため、本県の観光客数、出発地、観光の動機などについて調査を行う。								
2 主な事業内容 (単位: 千円)								
区分	予算額	内容						
ようこそようこそ鳥取県運動の推進	164	県民のもてなし意識醸成を図るための推進月間の実施、協議会の開催等						
観光客入込動態調査の実施	2,470	本県への観光客数、出発地、観光の動機などについての統計調査						
各種観光振興団体への負担金	2,162	各種観光団体が行う観光施策等に効果的に参画するため負担金を支出						
砂丘西側用地の管理	310	松くい虫被害木の伐採等の管理						
事務費	32,714							

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課（内線：7421）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
とっとりの民芸 振興事業	5,417	5,717	△300				5,417	
トータルコスト	22,894千円（前年度 23,418千円）〔正職員：2.2人〕							
主な業務内容	事業の企画、関係機関との連絡調整、ホームページの管理・運営、情報収集等							
工程表の政策目標(指標)	県民の生活を豊かにし、本県のアイデンティティ（独自性・帰属意識）をともなっている民芸品をさらに振興し、観光資源としての活用を促進する。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

本県にとって貴重な財産である和紙、緋、陶磁器、木竹、玩具等の民芸の魅力と価値を国内外に情報発信し、本県の民芸の振興を図る。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区 分	予算額	内 容
(1) 情報発信事業	4,195	・「とっとりの手仕事」ホームページの管理・運営を行い、県内の工房の紹介、催事案内などを行い、県内外に情報発信する。 ・大都市圏での民芸と観光情報を一体化した展示会を実施する。
(2) 愛用促進事業	25	民芸品を県庁で積極的に利用してもらうため、民芸品情報（製品、販売店舗）を検索できる「つかいもんデータベース」を管理・運営する。
(3) 民芸展示事業	150	公立図書館での「パネル巡回展示事業」と、県内4箇所「公共施設展示事業」を実施し、民芸に対する理解と関心を深めるためのふれあいの場を提供する。
(4) 人材交流・育成事業	317	民芸事業者の技術や市場調査等の知識の向上、人的交流を図るための研修会を開催する、
(5) マスコミ誘致事業	730	本県の民芸品の魅力を広く発信するため、専門誌、生活情報誌等を誘致する。

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課（内線：7421）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
未来に引き継ごう！ 県民の歴史資産「三徳山」調査活用推進事業	3,408	3,427	△19				3,408	
トータルコスト	7,380千円（前年度 7,450千円）[正職員：0.5人]							
主な業務内容	関係者との連絡調整、会議開催・資料作成、調査研究の推進、講演会等の事業実施、補助金交付業務等							
工程表の政策目標（指標）	三徳山の世界遺産登録等により、鳥取県と周辺地域（関西、中四国等）を周遊する観光客の増加を目指す。							
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の目的・概要 鳥取県を代表する文化財である三徳山について、世界遺産登録を視野に入れながら、地元関係者と連携し、調査研究を進めるとともに、保全管理の取組や観光振興、まちづくりへの活用を推進する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 三徳山世界遺産登録運動推進協議会・各部会の開催 三徳山世界遺産登録運動推進協議会、各部会（調査研究部会、情報発信部会、保存管理活用部会）で官民一体となり、世界遺産登録運動を総合的に推進</p> <p>(2) 情報発信・機運醸成（情報発信部会－事務局：鳥取県中部総合事務所県民局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開討論会の開催 ・文化資産学習会開催支援事業 補助対象事業：住民等が自ら企画・開催する三徳山等の文化資産の学習会 補助対象事業者：公民館、住民団体等 補助金額：定額（上限5万円） 8団体を予定 <p>(3) 調査研究（調査研究部会－事務局：鳥取県教育委員会文化財課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三徳山の総括的研究 ・鳥取県中部における中世寺院に関する研究 ・国内の類似資産との比較調査研究 ・主題の検討 ・三朝町実施の調査事業の支援（全体事業費2,200千円（県補助率1/3）） 三徳山内の遺構を確認するための発掘・測量調査 <p>(4) 保存管理活用（保存管理活用部会－事務局：三朝町教育委員会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元が中心となって行う保存管理活用の取組の支援（有識者等の招聘等） <p>(参考) 三徳山世界遺産登録運動推進協議会 設立：平成16年3月 会長：三朝町長 構成：中部市町、県、三徳山を守る会、三仏寺、倉吉商工会議所、倉吉ユネスコ協会等 役割：世界遺産登録を総合的な視点から協議 三徳山の保存管理活用に向けた行動計画の策定</p>								

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費

観光政策課 (内線: 7421)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
心に残る映画ロケ推進事業	1,000	1,000	0				1,000	
トータルコスト	1,794千円 (前年度 1,805千円) [正職員: 0.1人]							
主な業務内容	補助金交付業務							
工程表の政策目標 (指標)	地域自らが、自然、温泉、歴史、食、文化、人物等に着目し、知恵と力を結集させて地域資源を磨き、行政がその取組内容に応じたサポートをする。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 映画、テレビドラマ等により本県の魅力を県内外へ情報発信するため、NPO法人とっとりフィルムコミッションの活動に対して支援を行う。								
2 主な事業内容 (単位: 千円)								
区 分	予算額	内 容						
運営及び誘致活動への支援	300	・運営及びロケ誘致活動に係る経費を支援						
ロケ支援の助成金	700	補助額: 下記のとおり ・映画・連続ドラマ 1番組当たり200千円 ・短編ドラマ・番組 1番組当たり100千円 ・テレビCM・雑誌 1番組当たり 50千円						
合 計	1,000							
温泉地魅力向上事業	7,310	13,810	△6,500				7,310	
トータルコスト	14,460千円 (前年度 21,051千円) [正職員: 0.9人]							
主な業務内容	負担金交付事務及び協議会への出席、助言等							
工程表の政策目標 (指標)	地域自らが、自然、温泉、歴史、食、文化、人物等に着目し、知恵と力を結集させて地域資源を磨き、行政がその取組内容に応じたサポートをする。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 本県にとって重要な観光資源である温泉地の魅力向上のため、温泉地、観光施設及び市町等が連携して行う広報宣伝、催事等に対して助成する。								
2 主な事業内容 (単位: 千円)								
区 分	予算額	内 容						
いなば温泉郷支援事業 [総事業費 3,910]	(1,310) 1,310	いなば温泉郷協議会が行う情報発信、受地対策等の事業を支援する。						
皆生温泉支援事業 [総事業費 18,000]	(6,000) 6,000	皆生温泉にぎわい創出事業実行委員会が行う滞在型健康保養プログラム事業等を支援する。						
とっとり梨の花温泉郷支援事業	(6,500) 0							
※ 負担割合 県1/3、市町1/3、旅館組合等の地元1/3 ※ 鳥取県中部エリアの温泉地魅力向上は、「鳥取県中部ふるさと広域連合との広域観光連携モデル事業」において、戦略的・総合的に展開するため、当事業における支援は廃止とする。								

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課 (内線: 7421)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
観光二次交通整備支援事業	2,532	2,263	269				2,532	
トータルコスト	4,915千円 (前年度 4,677千円) [正職員: 0.3人]							
主な業務内容	補助金交付事務、関係機関との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	観光客が県内を周遊しやすいように、観光二次交通の充実及び情報発信に努める。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

旅行形態が団体旅行から個人旅行に変化し、観光客の受入態勢整備として基幹交通拠点から観光地までの二次交通の整備が重要であることから、県内の観光二次交通整備の充実を図ることにより本県への訪問客の増加を図る。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

事業名	金額	事業内容
鳥取空港－鳥取砂丘間乗合タクシー運行支援事業	802	鳥取空港と鳥取砂丘を直結する乗合タクシーの運行について、鳥取市と連携し、必要な経費を支援する。 ・運行期間 4月～12月までの金・土・日・祝 ・運行時間 鳥取空港発 1便、2便着の10分後出発 鳥取砂丘発 4便発の1時間前出発 ・支援内容 最低売上必要額から売上額を差し引いた額及び広報に必要な経費 (補助率1/2) ※ 県と鳥取市が1/2ずつ支援 ・補助対象者 鳥取ハイヤー共同組合
浦富海岸・鳥取砂丘観光周遊バス運行支援事業	1,100	鳥取砂丘・浦富海岸を周遊する観光ボンネットバスの運行を支援し、県内の山陰海岸ジオパークの周遊性を高める。 ・運行期間 GW期間～10月の土・日・祝 ・支援内容 ボンネットバス運行に必要な経費 (補助率1/3) ・補助対象者 浦富海岸・鳥取砂丘エリア観光二次交通運行協議会
とっとりのりもの総合案内作成	630	観光客に県内の観光二次交通をわかりやすく情報提供するため、東部・中部・西部のエリア別に情報をまとめたガイドマップを作成・配布する。

3 これまでの取組状況、改善点

平成18年度から浦富海岸・鳥取砂丘観光周遊バス、平成21年度から鳥取空港－鳥取砂丘間乗合タクシーを運行するとともに、平成24年度に県内の観光二次交通をわかりやすく情報提供するため、とっとりのりもの総合案内を作成し、県内周遊環境の整備を進めている。

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課 (内線: 7237)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
広域観光連携推進事業	4,000	3,100	900				4,000	
トータルコスト	6,383千円 (前年度 5,514千円) [正職員: 0.3人]							
主な業務内容	広域的な観光客誘致活動、連絡調整等							
工程表の政策目標(指標)	他府県と連携してエリアとしての観光魅力を向上させ、国内外からの観光客誘致、滞在時間の延長を図る。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

より効果的な観光客誘致を図るため、他府県・市町村・民間の観光関係団体と連携し、広範囲からの誘客と滞在時間の延長を目指す。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区分	予算額	内容
鳥取・岡山観光連携事業	2,000	広域観光地図の作成、両県連携による情報発信、宣伝活動、旅行会社への商品造成の働きかけ等を実施する。 総事業費4,000千円 (本県負担: 2,000千円)
因幡・但馬広域観光キャンペーン推進事業	500	県東部と、兵庫県但馬地方、京都府丹後地方の関係市町、民間が連携して、広報宣伝等の観光客誘致対策を実施する。 総事業費2,000千円 (本県負担: 500千円)
ひょうご・とっとりツーリズムバス事業	600	鳥取県及び兵庫県以外の居住者が、団体に貸切バスを使用して所定の観光施設を訪れる場合、バス借上料の一部を助成する。
鳥取自動車道活性化協議会事業	900	鳥取自動車道全通により、主に関西圏からのアクセス向上が期待される好機を捉え、沿線市町、民間が連携して、沿線市町を周遊する観光ルートの提案など観光振興事業を実施する。 総事業費2,160千円 (本県負担: 900千円)
計	4,000	※平成24年度までは県土整備部で計上

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

観光政策課（内線：7239）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「ディスカバーウェスト」中国五県連携観光振興事業	5,000	5,000	0				5,000	
トータルコスト	7,383千円（前年度 7,414千円）[正職員：0.3人]							
主な業務内容	JR西日本等と連携した観光客誘致対策							
工程表の政策目標(指標)	他県と連携してエリアとしての観光魅力を向上させ、国内外からの観光客誘致、滞在時間の延長を図る。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
首都圏をはじめとする大都市圏から中国地方への観光客誘致を進めるため、中国五県とJR西日本で組織する「DISCOVER WEST連携協議会」を通して、観光情報の発信等を行う。								
2 主な事業内容								
(1) 事業費 5,000千円（負担金）								
(2) 事業内容 旅行会社向け現地説明会（東京、名古屋、大阪、福岡）の開催 中国五県広域観光モデルルート集作成等								
※JR利用による首都圏から中国五県への送客実績								
本協議会の取組により、首都圏から中国地方への送客実績は着実に増加している。								
平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度			
約151千人	約203千人	約264千人	約277千人	約289千人	約344千人			
3 これまでの取組状況								
着地型観光素材の開発や、大都市圏での観光素材説明会の開催等を通じて、観光客誘致に取り組んでいる。平成22年度からは、九州新幹線開通による新たな観光需要を見込み、南九州地域での観光素材説明会を実施しているところ。								

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費

観光政策課 (内線: 7237)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
とっとり観光新時代: 観光情報提供事業	47,965	50,413	△2,448				47,965	
トータルコスト	59,881千円 (前年度 61,677千円) [正職員: 1.5人、非常勤職員: 0人]							
主な業務内容	マスコミへの情報提供、取材の受け入れ							
工程表の政策目標 (指標)	マスコミへの露出拡大や観光キャンペーンの展開等により、本県の知名度向上を図る。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 鳥取ならではの魅力を全国に訴えるため、関係観光協会・温泉旅館組合等と連携して、新聞・雑誌・テレビ等の各種媒体を通じて、本県の観光魅力を県外へ情報発信する。								
2 主な事業内容 (単位: 千円)								
区 分	予算額	内 容						
マスコミ (テレビ・雑誌等) への情報提供、売り込み活動	35,200	テレビ番組、情報誌、旅雑誌、自動車専門誌企画等						
PRキャラバン隊	3,600	JRの駅構内、高速道路のサービスエリア、マスメディア等での観光情報の発信						
番組記事制作負担金	2,400	テレビ番組、雑誌取材記事の制作にかかる金額の一部を負担することによるメディア露出						
マスコミの取材受け入れ	1,500	マスコミ関係者の取材招聘						
マスコミへのプレゼント供与	500	視聴者・読者プレゼント						
とっとり観光親善大使の観光イベント等への参加	775	とっとり観光親善大使の派遣費用						
事務費	3,990							
観光地環境整備事業	1,500	5,186	△3,686				1,500	
トータルコスト	2,294千円 (前年度 5,991千円) [正職員: 0.1人]							
主な業務内容	観光案内看板の維持管理等							
工程表の政策目標 (指標)	鳥取県の観光情報等の発信を図り、本県の観光の魅力・知名度を向上させ、観光客の増加を目指す。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 観光客の周遊性と利便性を向上させるため、観光案内看板の情報更新、修繕を行う。								
2 主な事業内容 交通手段や観光資源等を紹介するため、情報の更新を行う。(1,500千円) ※ 観光案内看板の設置状況: 38基 (県内30基、県外 (高速道路のサービスエリア等) 8基)								

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課 (内線: 7237)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取AiRMap 運用管理事業	4,628	4,628	0				4,628	
トータルコスト	7,011千円 (前年度 7,042千円) [正職員: 0.3人]							
主な業務内容	インフォタグ新規・変更・削除登録、広告管理、ツイッターによる情報発信							
工程表の政策目標(指標)	地域に埋もれた観光素材の発掘・磨き上げ、まんが・映画等を活用した新たな魅力づくり等に努め、他地域にはない本県ならではの観光魅力を形成する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 拡張現実情報により観光地や特産品等を紹介するスマートフォン用アプリケーション「鳥取AiRMap(エアマップ)」を活用して情報発信を行う。								
2 主な事業内容 (1) 鳥取AiRMapの運用管理 (2) 検索連動型広告 (3) ツイッターによる情報発信								
※整備状況等 平成22年8月に鳥取AiRMapを公開し、インフォタグ(※画面への付加情報表示)による観光情報発信を行っている。 インフォタグの整備状況: 観光地、特産品、催事など約1,600件のインフォタグを整備。 (一部のインフォタグは英語及び韓国語に対応。)								
ダウンロード数: 平成25年1月現在、ダウンロード数: 約12万件								
コンベンション誘 致促進事業	56,102	37,365	18,737				56,102	
トータルコスト	56,896千円 (前年度 39,779千円) [正職員: 0.1人]							
主な業務内容	財団法人とっとりコンベンションビューローへの指導調整、4市との事業計画・予算関係等の協議・調整、交付金・補助金交付事務							
工程表の政策目標(指標)	-							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 財団法人とっとりコンベンションビューローに対して、コンベンション誘致に要する経費を助成する。								
2 主な事業内容 (単位: 千円)								
区分	予算額	内容						
運営費交付金	24,927	(財)とっとりコンベンションビューローの運営費及び人件費を交付する (補助率 県1/2・4市1/2)						
コンベンション開 催助成費補助金	31,175	コンベンションの主催者に対する助成制度への補助を行い、誘致の促進を図る (補助率 県1/2・開催市町村1/2)						
3 これまでの取組状況 従来の学術、大会、スポーツの各コンベンションに加え、新たな需要が期待できる分野として、平成22年度からMICE及び企業コンベンション、平成23年度から合宿の誘致、平成24年度から高校生以下の合宿についても取り組んでいる。								

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
 1項 商工費
 3目 金融対策費

観光政策課（内線：7421）
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
観光開発促進資金 融資制度	41,741	51,184	△9,443			(貸付金元利収入) 41,741		
トータルコスト	41,741千円（前年度 51,184千円）[正職員：0.0人]							
主な業務内容	市町村、事業者、金融機関との連絡調整等							
工程表の政策目標(指標)	地域自らが、自然、温泉、歴史、食、文化、人物等に着目し、知恵と力を結集させて地域資源を磨き、行政がその取組内容に応じたサポートする。							
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の目的・概要 県内で観光・レクリエーション等の用に供する施設整備を行う中小企業に対し、その必要な資金の一部を融資することにより、観光振興を図る。</p> <p>2 主な事業内容 金融機関に対し資金を融資することで、企業に低利の貸付を実施する。</p> <p>・貸付金 41,741千円 ※ 平成18年度以降の新規融資については、鳥取県企業自立サポート事業「企業自立化支援資金（経済通商総室所管）」に移行しており、本事業分は既融資分（6件）に係る経費である。</p>								

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課（内線：7-637）→事業実施：生活環境部緑豊かな自然課と共管
(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
山陰海岸世界ジオパークネットワーク推進事業	(69,076)	(30,666)	(38,410)	(26,007)		(雑入) (20)	(43,049)	
トータルコスト	(100,058千円(前年度 62,045千円) [正職員：3.9人、非常勤職員：2.0人])							
主な業務内容	山陰海岸ジオパーク推進協議会への参画、関西広域連合事務、補助金・委託事業等交付事務、普及・啓発事業等の実施							
工程表の政策目標(指標)	山陰海岸の世界ジオパークネットワーク加盟等により、鳥取県と周辺地域(関西、中四国等)を周遊する観光客の増加を目指します。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
山陰海岸世界ジオパークの情報発信や観光活用等を「山陰海岸ジオパーク推進協議会」及び関係市町等と連携し推進する。また、関西広域連合で取り組む広域観光・文化振興分野においては、情報発信等を強化する。								
2 主な事業内容								
								(単位：千円)
事 業 内 容								予算額
1 山陰海岸国立公園指定50周年を契機とした情報発信								
①(新)山陰海岸ジオパーク体感事業 ・アウトドア雑誌との連載タイアップによる自然体験講座の開催(7月～8月、4回程度) ・夏休みの自由研究対策講座等のイベント開催(7月～8月)								21,500
2 観光活用								
①山陰海岸・隠岐ジオパーク連携事業 ・旅行商品造成の支援、両ジオパークを結ぶ航路の設定によるツアー実現に向けた調査検討 ・ガイド交流会、共同写真展の開催								1,927
②山陰海岸ジオパーク女子旅モニターツアー事業 ・女性プロガー等による個人モニター旅行の実施及び旅行レポート等による情報発信 (募集人員45名、うち外国人枠5名)								4,031
③ジオパーク旅行商品造成推進事業 ・ジオガイドの活用等を要件とする旅行商品造成の推進								7,500
④山陰海岸ジオウオーク補助金(補助率：定額、上限1,500千円) ・交付先：山陰海岸ジオウオーク西地区実行委員会								1,500
3 もてなし向上								
①(新)ジオガイドスキルアップ事業 ・観光客の視点によるジオガイド(県内13団体)の評価研修、講習会等の開催								1,403
②電動自転車管理業務委託、外国人対応職員(砂丘事務所、山陰海岸学習館 計2名)配置								5,018
4 県内外でのPR								
①鳥取空港電照看板、ジオパークラッピングバス、鳥取砂丘検定の実施等								1,790
②県外・海外へのPR(韓国済州島で開催される国際会議でのPR等)								4,750
5 その他								
①山陰海岸ジオパーク魅力活用補助金(補助率：1/2)								11,000
②山陰海岸ジオパーク推進協議会専門部会鳥取分会運営費、フォーラム開催等								4,075
③山陰海岸ジオパーク推進協議会負担金								4,582
合 計								69,076

[参考]

- (1) 関西広域連合（広域観光・文化振興分野）での取組（別途予算1,000千円）
 ・海外への情報発信、広域観光ルートの提案

(2) 他のジオパーク関連事業

(単位：千円)

事業内容	予算額
1 山陰海岸国立公園指定50周年を契機とした情報発信	
① (新) 世界へアピール! 山陰海岸ジオパークプロジェクト (公園自然課) ・関係機関と実行委員会を組織し、記念イベントや関連イベント等を実施	1,500
② (新) 鳥取砂丘情報発信事業 (砂丘事務所) ・鳥取砂丘で記念イベントやギネスチャレンジイベントを実施	8,182
2 ジオパーク拠点施設の充実	
① (新) 山陰海岸ジオパーク拠点施設の学習館拡充事業 (博物館) ・山陰海岸学習館の今後のあるべき姿と方策を検討 ・道路沿いの案内標識の設置や駐車場の拡張等	12,783
② ジオパークを楽しく学べる学習館充実事業 (博物館) ・山陰海岸学習館の展示資料等の充実 ・山陰海岸学習館ギョギョバイザーのさかなクンの招へいなどの情報発信等	26,044
③ 山陰海岸ジオパーク映像資料充実事業 (博物館) ・山陰海岸学習館の3D映像の充実 (海中映像の追加や英語版など) ・館外でも上映できる「3Dテレビ」の整備	18,715
3 インフラ整備・保全	
① 山陰海岸ジオパークPR看板設置事業 (東部県土整備局) ・駒馳山バイパス等の開通による交通の変化に対応した誘導看板の設置	10,064
② 湖山池一周りフレッシュコース案内整備事業 (東部県土整備局) ・湖山池周辺への案内看板等の設置	18,727
③ 自然遊歩道の安全対策 (公園自然課) ・山陰海岸世界ジオパーク自然歩道の整備・修繕等	32,150
4 教育活用	
① 「山陰海岸ジオパーク」の魅力学ぶ講座開催費 (博物館) ・観察会や講座の開催、学芸員の派遣等	2,072
② 「山陰海岸ジオパーク」アドベンチャースクール (家庭・地域教育課) ・山陰海岸ジオパークのすばらしさを伝える体験学習会の開催	1,417
③ 岩美キッズトライアスロン支援事業 (東部県民局) ・岩美キッズトライアスロン全国大会への支援	800
5 ツーリズムの推進	
① JR山陰本線を活用した因幡・但馬交流等促進事業 (交通政策課) ・ジオパークエリア内を縦断する特別列車の運行 ・「山陰海岸ジオライナー」のPR等	10,312
② 観光二次交通整備支援 (観光政策課) ・鳥取砂丘への乗合タクシー、鳥取砂丘・浦富海岸を周遊するボンネットバスの運行支援	1,902
計	144,668

ジオパーク関連事業 合計 213,744千円

3 これまでの取組状況、改善点

引き続き、国内外における山陰海岸ジオパークの認知度向上、ツーリズムの推進、教育活用等により地域の持続的な発展に努めるとともに、平成25年度は、山陰海岸国立公園指定50周年を契機とした集中的な情報発信や隠岐ジオパークとの連携強化などにも取り組む。

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
 3項 観光費
 1目 観光費

観光政策課 (内線: 7421)
 (単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(廃止) 山陰文化観光圏推進事業	(0) 0	(17,348) 12,254	(△17,348) △12,254					
トータルコスト	0千円 (前年度 15,472千円)							
※上段()は商工労働部の緊急雇用創出事業計上分を含む額								
事業内容の説明 (廃止) 山陰文化観光圏整備計画期間(平成20年8月～平成25年3月)満了に伴う廃止。 今後、「山陰観光」の情報発信・プロモーションは、山陰文化観光圏の取り組み成果を継承し、島根県との広域観光連携事業により実施する。								
(廃止) 2012年山陰デスティネーションキャンペーン推進事業	0	12,500	△12,500					
トータルコスト	0千円 (前年度 13,305千円)							
事業内容の説明 (廃止) 平成23年度、平成24年度事業として実施したため。								
(廃止) とっとり神器とグルメストーリー2012開催事業	0	1,220	△1,220					
トータルコスト	0千円 (前年度 1,220千円)							
事業内容の説明 (廃止) 平成24年度単年度事業として実施したため。								

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

東部総合事務所県民局（電話：0857-20-3655）

3項 観光費

→事業実施：地域振興部東部振興課

1目 観光費 <地方機関計上予算>

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
とっとり因幡グリーンツーリズム推進事業	(1,648)	(1,648)	(0)				(1,648)	
トータルコスト	(2,442千円 (前年度：3,257千円) [正職員：0.1人])							
主な業務内容	推進協議会の運営にかかる関係機関調整、打ち合わせ等							
工程表の政策目標(指標)	グリーンツーリズムの推進及び山陰海岸ジオパークの活用推進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

県東部（東部・八頭総合事務所管内）のグリーンツーリズムを推進することにより、中山間地域への観光客等の入り込み数の増加を図り、認定3年目を迎えた山陰海岸ジオパークやエコ、スポーツなどさまざまなニューツーリズムとの連携を進める。

「とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会」に対し、活動に必要な経費として県及び東部の1市4町により負担金を支出する。

2 主な事業内容

単位：千円

区分	金額	備考
(1) 協議会がおこなう事業	1,135	
①協議会ホームページの管理運営及び情報発信事業	651	
②会員に対する研修事業	220	
③会員に対する支援・助成事業	264	
(2) 協議会事務局運営費	2,276	
合計	3,411	
県負担金	1,648	(事業費合計-115) × 1/2 115千円は民間会員会費分

3 これまでの取組状況、改善点

(1) 経過

- ・ H21.10月、東部地区中山間地域振興協議会施策提言において、都市農村交流の取り組みを売り出すための体制整備が必要との提言がなされた。H22.3月、1市4町により定住自立圏形成協定を締結、協定項目の一つにグリーンツーリズムが盛り込まれ、H22.4月に同協議会が設立された。

(2) 現状

- ・ 民間の会員団体（正会員）が設立当初の12団体から23団体に増加。
- ・ 旅館業法上の許可を取得した農家民泊等簡易宿所施設が49軒に増加（東部圏内全域）。
- ・ 市街地の小学校の宿泊体験研修の場としての利用が増加。（鳥取市佐治町 H23 5校 → H24 9校）
- ・ ホームページの新着情報を積極的に掲載しており、アクセス数が増加するとともに体験者数、宿泊者数も増加している。
- ・ 今年度新たにフェイスブックページも開設。ホームページとリンクさせて情報発信を行っている。
- ・ H24年度より事務局を(社)鳥取県観光連盟に委託。

(3) 今後の見通し及び改善点

- ・ 現在は単体の会員団体での活動が主となっているが、ある程度大規模な体験教育旅行の受け入れや、田舎暮らし体験を志向する都市住民の受け皿となるべく、広域の連携が今以上に望まれているところである。
- ・ グリーンツーリズムには体験観光の受け地としての側面と、農村の6次産業化としての側面があり、その2つが両立されるように推進していくことが重要。

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

東部総合事務所県民局（電話：0857-20-3657）

3項 観光費

→事業実施：地域振興部東部振興課

1目 観光費 <地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
岩美キッズトライアスロン支援事業	(800)	(800)	(0)				(800)	
トータルコスト	(1, 594千円（前年度：1, 605千円）[正職員：0.1人]）							
主な業務内容	補助金交付業務等							
工程表の政策目標(指標)	グリーンツーリズムの推進及び山陰海岸ジオパークの活用推進							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
県内の自然や文化等を活用し、県内外からの参加者を募る情報発信力の高い事業に対して支援することにより、参加者に地域の魅力を体感する機会を提供するとともに、地元ボランティア、地域住民との交流を図ることによって、今後の観光客誘致に繋げていく。								
2 主な事業内容								
第3回山陰海岸世界ジオパーク岩美キッズトライアスロン全国大会への補助(定額：800千円)								
事業実施主体は岩美キッズトライアスロン全国大会実行委員会。								
全国から参加する小中学生が山陰海岸世界ジオパークで行われるトライアスロン競技を通じ、自然の雄大さを体感するとともに参加者同士の交流を深め、魅力を広く発信する。								
(第1回、第2回大会の状況)								
・第1回参加者225名、第2回参加者247名								
・海を利用しての大会は全国的にも珍しく関係者には好評。山陰海岸世界ジオパークのすばらしさは十分に情報発信できた。								

7款 商工費

東部総合事務所県民局（電話：0857-20-3657）

3項 観光費

→事業実施：地域振興部東部振興課

1目 観光費 <地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
東部地区観光資源活用事業	(771)	(771)	(0)				(771)	
トータルコスト	(1, 565千円（前年度 1, 576千円）[正職員：0.1人]）							
主な業務内容	施策検討							
工程表の政策目標(指標)	-							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
東部地区の地域資源を活用した観光振興を図るための活動費。								
2 主な事業内容								
○県東部の観光資源の発掘および活用検討。								
○パネル展等による普及啓発。								

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
 3 項 観光費
 1 目 観光費 <地方機関計上予算>

八頭総合事務所県民局（電話：0858-72-3880）

→ 事業実施：地域振興部東部振興課

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「幸せはこぶ福(29)ロード」事業	(1,129)	(422)	(707)				(1,129)	
トータルコスト	(6,690千円(前年度5,250千円)[正職員:0.7人])							
主な業務内容	国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会事業の実施、関係団体間の連絡調整等							
工程表の政策目標(指標)	国道29号周辺地域の集客向上の取り組みを通じた地域の活性化							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
都市部等からの国道29号沿線へのさらなる観光客誘致、交流人口の拡大を図るため、「国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会」において、広域的な観光振興に取り組む。								
2 主な事業内容								
(1) 実施主体								
国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会								
(2) 事業内容								
ア (新)ニク(29)ロード推進事業								
<small>いのしかちょうりょうり</small> 兵庫県側の猪鹿鳥料理の取組と連携して、ジビエ(野生肉)料理を目玉としたニク(29)ロードとしての情報発信を図る。								
<ul style="list-style-type: none"> ・県東部から但馬地域のイベントに参加し、沿線のジビエ等をPRする。(約4回) (補助金(上限)607千円、補助率10/10) ・鳥取・兵庫両県のジビエ提供店を回るスタンプラリーを実施する。(1回、約20店) (補助金(上限)100千円、補助率1/2) 								
イ 国道29号沿線の資源や特徴を活かした観光客誘致事業(負担金300千円)								
<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅と連携した観光イベントを実施する。(福(29)ロードフェア、秋開催予定) ・車やバイクでの旅行を楽しむのに適した道として、雑誌社等へ情報提供を行う。(随時) 								
3 これまでの取組状況、改善点								
<ul style="list-style-type: none"> ・平成15年に国、鳥取・兵庫の両県、沿線市町村等で協議会を設置し、鳥取・兵庫の地域間交流の促進や観光客誘致活動を展開しており、平成21年度以降は、広域観光振興、情報発信に特化した取組を推進している。 ・行政機関中心であった協議会の運営について、民間事業者の積極的な参加が出来るよう見直しを進めているほか、道の駅や他団体との連携強化を検討している。 								
<参考> 国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会の構成団体								
鳥取県、兵庫県、若桜町、八頭町、兵庫県宍粟市、鳥取河川国道事務所、姫路河川国道事務所、若桜町商工会、八頭町商工会、宍粟市商工会、(財)しそ森林王国協会、R29活性化委員会								

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

中部総合事務所県民局（電話：0858-23-3186）

3項 観光費

→ 事業実施：中部総合事務所地域振興局

1目 観光費 <地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 鳥取中部ふるさと広域連合との広域観光連携モデル事業	13,000	0	13,000				13,000	
トータルコスト	19,355千円（前年度0千円） [正職員：0.8人]							
主な業務内容	補助金交付事務、企画調整							
工程表の政策目標(指標)	観光資源の掘り起こしと磨き上げ、広域連携の推進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

「鳥取中部ふるさと広域連合」（以下「広域連合」という。）が成果をあげている外国人観光客の誘致・受入などの広域観光振興対策を加速するため、共通テーマを中心に広域連合と県との連携を深める。

2 主な事業内容

県の政策戦略テーマに関連する事業計画を、県と広域連合が共同して作成し、その計画に基づいて広域連合が行う事業を支援する。

(1) 計画例

テーマ	内 容
とっとりグリーンウェイブ	エコツーリズムの広域展開
「まんが王国」発ソフトパワー	バスツアー運行、まんが・アニメイベントとの連携等
「食のみやこ鳥取県」の確立	ツアー用弁当開発、産業観光、B級グルメ発信等
「温泉」の振興	各温泉地と連携した魅力発信・ブランド化

(2) 補助率 1/2（上限13,000千円）

(3) 経費使途 委託料、人件費（補助対象経費の5割以内）、広告宣伝費、県外旅行会社等招請旅費等
 ※ 経常的経費（事務所賃借料・会費的負担金等）は補助対象外

(4) 実施期間 3年間（平成25年度～27年度）

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

中部総合事務所県民局（電話：0858-23-3952）

3 項 観光費

→ 事業実施：中部総合事務所地域振興局

1 目 観光費＜地方機関計上予算＞

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
ハワイトライアスロンin湯梨浜大会を日本を代表する大会に育てるための支援事業	1,000	1,000	0				1,000	
トータルコスト	1,000千円（前年度 1,000千円）[正職員：0.0人]							
主な業務内容	補助金交付事務							
工程表の政策目標(指標)	東郷湖活性化プロジェクトの支援							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

東郷池面での水泳、東郷池周回コースでの自転車及び長距離走で競われる「ハワイトライアスロンin湯梨浜大会」は東郷池及び周辺観光地の知名度の向上やスポーツツーリズムの推進など、鳥取県及び鳥取県中部地域の魅力を県内外に向けて発信することのできる貴重な大会であり、日本を代表する大会に発展するよう支援し、更なる参加者拡大と東郷池を活用した地域振興の促進を図る。

2 主な事業内容

湯梨浜町、同町商工会及び鳥取県トライアスロン協会等で構成される実行委員会に対し、開催経費の一部を助成し、大会の開催を支援する。

第5回大会は平成25年6月16日（日）開催予定。

（単位：千円）

補助対象者	補助対象経費	全体事業費	補助金	補助率
ハワイトライアスロンin湯梨浜大会実行委員会（事務局：湯梨浜町役場内）	広報、ボランティアに係る経費	10,704	1,000 （ただし、地元自治体負担額見合いを上限とする。）	1/2

3 これまでの取組状況、改善点
（開催実績）

（単位：千円）

	開催月日	参加人数	予算額 （ハワイトライアスロンin湯梨浜大会開催支援事業）
第1回（H21）	5月24日	選手256人（うち県外218人） ボランティア約470人	1,000
第2回（H22）	5月23日	選手299人（うち県外232人） ボランティア約435人	1,000
第3回（H23）	6月19日	選手317人（うち県外216人） ボランティア466人	1,000
第4回（H24）	6月17日	選手325人（うち県外232人） ボランティア440人	1,000

（第4回大会の改善点）

- ・ 財政基盤確立のため、新たな民間補助金（TOTO助成金）を申請。
- ・ 参加選手の募集定員を300人から350人に増員（年々参加者が増加したため。）

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

中部総合事務所県民局（電話：0858-23-3177）

3項 観光費

→ 事業実施：中部総合事務所地域振興局

1目 観光費 <地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
櫻杯争奪相撲選手権大会支援事業	500	500	0				500	
トータルコスト	1,294千円（前年度500千円）[正職員：0.1人]							
主な業務内容	補助金交付事務							
工程表の政策目標(指標)	県民による地域づくり活動の活発化							
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の目的・概要 全国から小・中学生を迎え、相撲を通じた青少年の健全育成を図るとともに、倉吉市出身で倉吉市名誉市民でもある故第53代横綱琴櫻（先代佐渡ヶ嶽親方）の顕彰を目的として開催される櫻杯争奪相撲選手権大会を支援（定額：400千円）することにより、参加者に地域の良さを体感する機会を提供する。</p> <p>2 主な事業内容 (1) 第35回櫻杯争奪相撲選手権大会（倉吉市） (2) 第29回わんぱく相撲全国大会（両国国技館）</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点 昭和54年に第1回を開催。県内外からの参加者や力士などの関係者を迎え（中学生部門では県外から34名の学生が参加等）、山陰随一の相撲大会として成長している。</p>								

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

中部総合事務所県民局（電話：0858-23-3186）

3 項 観光費

→ 事業実施：中部総合事務所地域振興局

1 目 観光費 <地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 鳥取中部ふるさと広域連合駐在職員関係経費	1,000	0	1,000				1,000	
トータルコスト	1,000千円（前年度 0千円）[正職員0.0人]							
主な業務内容	鳥取中部ふるさと広域連合駐在職員経費							
工程表の政策目標(指標)	広域連携の推進							
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の目的・概要 中部総合事務所県民局の機能見直しに伴う鳥取中部ふるさと広域連合への県観光業務担当職員の配置に係る経費</p> <p>2 主な事業内容 鳥取中部ふるさと広域連合への県観光業務担当職員の配置に係る事務機器設置、公用車リース、事務所家賃及び光熱水費等の経費</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点 鳥取中部ふるさと広域連合及び中部地区の市町等で構成する「とっとり梨の花温泉郷広域観光協議会」に参画し、観光商品の造成、PR活動等を行い広域観光振興を推進した。</p>								

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費費

西部総合事務所県民局（電話：0859-31-9629）

3項 観光費

→ 事業実施：西部総合事務所地域振興局

1目 観光費 <地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考								
				国庫支出金	起債	その他	一般財源									
大山中海振興費	6,662	6,666	△4			(雑入) 7	6,655									
トータルコスト	19,372千円（前年度：19,540千円） [正職員：1.6人、非常勤職員：1人]															
主な業務内容	二次交通（大山るーぷバス）の整備支援、大山足湯整備補助金の支払い、国内外の関係団体等との連絡調整、国内外への情報発信															
工程表の政策目標（指標）	エコツーリズムの推進、スポーツツーリズムの推進、「国際リゾート」にふさわしい地域の実現															
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の目的・概要 大山・中海エリアにおいて、この地域に暮らす人・この地域を訪れる人の誰もが地域の魅力を享受し実感できるよう、その前提条件を整えるため、観光二次交通の整備支援、地域資源の魅力向上、国内外の関係団体との連絡調整及びインターネット等を活用した情報発信等を行う。</p> <p>2 主な事業内容</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 80%;">(1) 大山エリア観光二次交通整備推進協議会負担金</td> <td style="text-align: right;">1,500千円</td> </tr> <tr> <td>(2) 大山足湯整備補助金（平成25年度分）</td> <td style="text-align: right;">193千円</td> </tr> <tr> <td>(3) 非常勤職員の配置（インバウンドアテンド対応、情報収集、発信）</td> <td style="text-align: right;">1,801千円</td> </tr> <tr> <td>(4) 事務費</td> <td style="text-align: right;">3,168千円</td> </tr> </table> <p>3 これまでの取組状況、改善点 大山るーぷバスの運行や大山寺参道の足湯整備などにより、観光客にとって地域の魅力を享受しやすい環境整備が整いつつある。一方、住民参画を得ながらエコツーリズム及びスポーツツーリズムの推進を行っているが、環境整備・利用と相互に関連づけながら発展させていくことが必要。</p>									(1) 大山エリア観光二次交通整備推進協議会負担金	1,500千円	(2) 大山足湯整備補助金（平成25年度分）	193千円	(3) 非常勤職員の配置（インバウンドアテンド対応、情報収集、発信）	1,801千円	(4) 事務費	3,168千円
(1) 大山エリア観光二次交通整備推進協議会負担金	1,500千円															
(2) 大山足湯整備補助金（平成25年度分）	193千円															
(3) 非常勤職員の配置（インバウンドアテンド対応、情報収集、発信）	1,801千円															
(4) 事務費	3,168千円															

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

西部総合事務所県民局（電話:0859-31-9647）

3項 観光費

→ 事業実施：西部総合事務所地域振興局

1目 観光費 <地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（廃止）文化観光施設復旧支援事業	0	1,684	△1,684					
トータルコスト	0千円（前年度 2,489千円）							
事業内容の説明 （廃止）大山スキー場の被災施設の復旧事業が完了したため。								

7款 商工費

日野総合事務所県民局（電話：0859-72-2082）

3項 観光費

→ 事業実施：西部総合事務所日野振興センター日野振興局

1目 観光費 <地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（廃止）文化観光施設（木谷沢溪流遊歩道等）復旧支援事業	0	1,000	△1,000					
トータルコスト	0千円（前年度 1,805千円）							
事業内容の説明 （廃止）平成24年度単年度事業で実施したため。								

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

国際観光推進課（内線：7221）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
世界に開かれた“とっとり”国際観光推進事業（外国人観光客受入向上推進事業）	41,666	44,108	△2,442				41,666	
トータルコスト	50,404千円（前年度 52,959千円）[正職員：1.1人]							
主な業務内容	国際リゾートの実現に向けた推進体制強化及び外国人観光客受入環境整備などの課題解決を計画的に進める							
工程表の政策目標（指標）	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 外国人観光客誘致を持続的に進め、国内外の観光客で賑わう国際リゾートへと発展していくため、外国人が快適に観光を楽しめる環境整備を計画的に推進する。								
2 主な事業内容 （単位：千円）								
区分	予算額	内容						
(1) 国際リゾートとっとりプラン（国際観光アクションプログラム改訂版）の推進	1,616	○推進協議会（プラン進捗管理・施策提案等、3回） ○テーマ別作業部会（受入に係る方策検討、4回） ○外国人誘客研修会（基礎知識、おもてなし講座等、5回）						
(2) 外国人観光客入込動態調査	2,500	○旅行形態、来訪動機、宿泊場所、訪問先、消費額、満足度等の聞き取り調査						
(3) 外国人観光客受入環境の整備	37,550							
①二次交通（県内移動手段）の整備	27,739	○米子鬼太郎空港・境港連絡バスの運行支援 ○各圏域（東部・西部）における周遊バス等の運行支援						
②市町村、民間等の取組支援	5,000							
区分	民間事業者（グループ・団体を含む）	市町村・広域連合	受入環境整備モデル地区					
支援対象	・施設案内看板の多言語化 ・外国語ホームページ・パンフレットの作成 ・もてなし研修会の開催 ・クレジットカード対応機器の設置 など	・案内看板の多言語化	・受入環境整備の助言者招請					
補助率	1/2（上限500千円）							
※受入環境整備モデル地区：自発的に外国人観光客受入環境整備を行う地区を公募・指定（23年度に東部・中部・西部の3地区を指定）								
③県による受入体制整備	4,811	○米子空港ビル・境港国際旅客ターミナル内の外国語案内担当者の配置（3名） ○多言語電話通訳サービスの提供（通年） ○外国人による県内観光地の巡回点検（1回）						
合計	41,666							
3 これまでの取組状況、改善点 国際観光アクションプログラム（平成22～24年度）の成果・課題を検証し、平成24年度末に改訂する次期計画「国際リゾートとっとりプラン」に基づき、各事業をバランスよく計画的に実施していく。								

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

国際観光推進課 (内線: 7221)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
世界へ打って出る “とっとり”国際観光 推進事業(外国人観光 客誘致推進事業)	104,208	94,228	9,980				104,208	
トータルコスト	124,068千円(前年度110,320千円)[正職員:2.5人]							
主な業務内容	海外での広報活動、旅行商品の造成・販売促進支援、海外調査・宣伝業務の委託、国際交通基盤の利用促進ほか							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

米子-ソウル便、環日本海定期貨客船、国際チャーター便等を活用して、外国人観光客を戦略的に県内に誘致し、外貨獲得による観光振興や交流人口の拡大による地域活性化に寄与する。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区分	予算額	内 容
市 場 別	① 韓国	38,958 ○観光ブログによる観光情報発信(通年) ○新聞、雑誌、テレビによる四季毎の観光情報の発信(4回程度) ○ソウル駐在員の配置(2名) ○(新)新規旅行商品モニターツアー(40人×4回) ○(新)個人旅行者向け携帯冊子の作成(1万部) ○(新)旅行会社と連携した広告掲載(2回程度)等
	② 台湾	7,100 ○観光ブログによる観光情報発信(通年) ○台湾旅行会社向け観光情報説明会(1回) ○台中旅行博覧会への出展(1回)等
	③ 中国	4,900 ○観光博覧会出展(2回)等
	④ ロシア、香港、 (新)東南アジア	27,000 ○テレビ番組・CMによる観光宣伝(ロシア) ○雑誌・新聞等での観光情報掲載(5回)(香港) ○国際旅行フェア、観光博覧会への出展 (東南アジア2カ国)等
共 通	① 旅行会社等招請	5,000 ○旅行商品造成及び情報発信を目的とした旅行会社、マスコミの招請ツアー(延10回、50名程度)
	② 県内団体・海外旅行会社への外国人観光客誘致活性化支援	12,000 ○海外販売促進等を行う県内団体、海外旅行会社に対するホームショッピング等実施経費支援(補助率:1/2、上限:1,000千円)
	③ 国際チャーター便広報支援	1,250 ○国際チャーター便運航に合わせた、旅行会社と連携した観光宣伝(5回)
	④ 県内国際定期路線を活用した外国人観光客誘致支援	8,000 ○米子-ソウル便、環日本海定期貨客船を利用して送客を行う旅行会社等への支援(山陰国際観光協議会への補助金)
合 計	104,208	

3 これまでの取組状況、改善点

平成25年度は、外交関係等の外的要因の影響を受けにくい外国人観光客構造への転換を図るため、新たに東南アジア市場を対象とした観光客誘致を推進する。

平成25年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
3目 交通対策費

国際観光推進課 (内線: 7221)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国際航空便利用促進費 (定期便)	91,793	87,733	4,060				91,793	
トータルコスト	106,092千円 (前年度102,216千円) [正職員: 1.8人]							
主な業務内容	アジアナ航空・韓国観光公社等関係機関との連絡・調整、山陰国際観光協議会業務ほか							
工程表の政策目標 (指標)	米子ソウル国際定期便の自立・発展							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

山陰唯一の国際定期航空路線である米子-ソウル便の安定運航を図るため、同便を運航するアジアナ航空に対して、米子空港の着陸料、施設使用料等の経費を支援するとともに、山陰両県の官民70団体で組織する山陰国際観光協議会の一員として同便の利用を促進する。

2. 主な事業内容

(単位: 千円)

区 分	予算額	内 容
アジアナ航空に対する支援	76,793	○補助対象経費 ・着陸料、保安料、航行援助施設利用料 (3/4) ・空港ビル施設使用料 (10/10) ・ハイジャック検査業務 (10/10) ※ () 内は補助率
山陰国際観光協議会負担金	15,000	○国際定期航路利用促進事業 (日本→韓国) ・団体旅行支援 ・修学旅行貸切バス支援 ・情報発信 ・商品造成支援 ・(新) 特別対策 (韓国観光公社との連携事業) 〔旅券取得支援、モニターツアー、日本人搭乗者25万人〕 〔達成記念キャンペーン〕 ※全体事業費 35,000 (内訳: 鳥取県15,000、市町村等20,000)
合 計	91,793	

[参考] 米子ソウル便利用実績 (平成24年4月~平成24年12月)

提供座席数	搭乗座席数	搭乗座席数の内訳			搭乗率
		日本人	韓国人	その他	
(39,965席)	(23,334席)	(17,598席)	(5,465席)	(271席)	(58.4%)
38,010席	20,455席	13,896席	6,258席	301席	53.8%

※ () は前年同期実績

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

国際観光推進課 (内線: 7221)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国際観光推進費	40,906	42,914	△2,008			〈雑入〉 10	40,896	
トータルコスト	57,589千円 (前年度 60,615千円) [正職員: 2.1人、非常勤職員: 1.1人]							
主な業務内容	外国人観光客誘致活動、関係機関等との連絡調整、補助金・負担金交付業務							
工程表の政策目標 (指標)	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現、東アジア地方政府観光フォーラム (EATOF) への参加、米子ソウル国際定期便及び環日本海定期貨客船航路 (旅客) の自立・発展							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
近隣各県や海外地方政府と連携して、諸外国から訪問する観光客を増加させ、観光産業の振興及び米子ソウル便・環日本海定期貨客船などの国際交通基盤の維持・発展に寄与する。								
2 主な事業内容 (単位: 千円)								
区分	予算額	内 容						
広域連携国際観光推進事業	12,495	山陰・中国5県、関西など、他府県と連携した外国人観光客誘致事業等に要する経費。(単位: 千円)						
		区分	予算額	内 容				
		中国地区広域観光検討部会負担金	3,100	中国五県連携訪日観光事業推進等				
		中国地方ビジネスフォーラム負担金	2,000	韓国・中国・台湾等向けの観光客誘客活動				
		山陰国際観光協議会負担金	4,000	島根県と共同で韓国、ロシア、台湾等に向け誘客活動				
		岡山連携観光客誘致事業負担金	800	中国、台湾等メディアの招請				
		京都・兵庫三府県連携事業負担金	500	ジオパーク、マンガ等共通テーマの情報発信				
		関西空港観光案内所整備運営協議会負担金	1,415	観光案内所の運営経費、観光地図の作成等				
		国際観光振興機構負担金	680	国内外の観光情報提供等				
計	12,495							
東アジア地域観光交流促進事業	1,200	東アジア地域の共同繁栄と各地域間の緊密な交流を深めるため、各地域間の国際観光交流の促進を目的とした東アジア地方政府観光フォーラム (EATOF (イートフ)) へ参加する。 予算内容: 事務局運営負担金、東アジア地方政府観光フォーラム参加支援事業補助金 (補助率: トラベルマート (観光展) 参加経費支援 10/10、学術観光貿易投資フォーラム参加経費支援 1/2)						
環日本海定期貨客船航路利用促進費	1,136	環日本海定期貨客船の旅客利用のうち、一層の利用促進が求められる日本からの利用を促進するため、利用者支援を行う。						
		区分	内 容					
		修学旅行支援	修学旅行に対して、国際旅客ターミナルまでの貸切バス費用を支援					
		グループ旅行支援	4名以上のグループに対して、経費の一部を支援					
国際観光推進費	26,075	外国語版の観光パンフレット・観光案内地図等の増刷や非常勤職員配置などに要する経費。						

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
 3項 観光費
 1目 観光費

国際観光推進課 (内線: 7221)
 (単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 国際クルーズ客船受入推進事業	6,700	0	6,700				6,700	
トータルコスト	9,083千円 (前年度 0千円) [正職員: 0.3人]							
主な業務内容	関係機関等との連絡調整、広報、補助金・負担金交付業務							
工程表の政策目標(指標)	新規市場からの誘客促進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

国際クルーズ船の境港寄港による本県への経済波及効果を最大限に引き出すため、クルーズ船乗客の県内周遊及び受入環境整備を促進する。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区 分		予算額	内 容
観光客誘致	旅行会社向け説明会開催・広報宣伝	2,200	・鳥取県向けオプションツアーの造成及び販売促進に向けた旅行会社向け説明会の開催(1回) ・雑誌、新聞広告等による鳥取県観光に関する情報発信
	県内オプションツアー支援	2,500	・バス借上料の支援(上限15,000円/1台)
受入環境整備	県内の土産物、食事等の紹介パンフレット作成	2,000	・中国語、韓国語、英語のパンフレット作成(部数: 各10,000部)
合 計		6,700	

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

国際観光推進課（内線：7221）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(廃止) 北東アジア ゲートウェイ2nd ステージ外国人観光 客誘致事業	0	3,800	△3,800					
トータルコスト	0千円（前年度 6,214千円）							
事業内容の説明 （廃止）「世界へ打って出る“とっとり”国際観光推進事業（外国人観光客誘致推進事業）」に統 合したため								
(廃止) 韓国向け観 光客誘致緊急対策事 業	0	7,040	△7,040					
トータルコスト	0千円（前年度 8,649千円）							
事業内容の説明 （廃止）東日本大震災及び円高ウォン安による韓国人観光客激減に対する緊急対策のため単年度 事業として実施したため								

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
 3 項 観光費
 1 目 観光費<地方機関計上予算>

西部総合事務所県民局 (電話:0859-31-9372)
 → 事業実施:西部総合事務所地域振興局

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
とっとりスタイル エコツーリズム普 及推進事業(201 3国際大会)	5,400	3,500	1,900				5,400	
トータルコスト	8,578千円(前年度6,718千円)[正職員:0.4人]							
主な業務内容	補助金交付業務、地元等との連絡調整等							
工程表の政策目標(指標)	平成25年10月の「エコツーリズム国際大会in鳥取」の開催及び大会に向けた地元機運醸成や具体のツアー商品の造成・販売							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

「とっとりグリーンウェイブ」の主要イベントの一つである「エコツーリズム国際大会2013 in鳥取」の開催に当たり、関係市町村と歩調をとりながら、同大会の準備・開催及び鳥取発のエコツーリズム(サイクリング、登山、まち歩きなど)の普及を行う同大会実行委員会を支援する。

2 主な事業内容

「エコツーリズム国際大会2013 in鳥取」実行委員会が行う次の取組を支援する。

(単位:千円)

取組内訳	事業費	負 担 内 訳			
		国	県	市町村	その他
○国際大会開催経費 (会場設営費、講師等謝金・旅費、交流会開催費等)	20,000	/			
○エコツーリズム推進費 (ガイド等の人材育成、エコツアー商品の造成、普及啓発・情報発信等)	9,800				
合 計	29,800	8,000	5,400	5,400	11,000

※負担内訳欄の「国」は、環境省事業「日本の自然を活かした地域活性化推進事業」を申請予定。「その他」は大会参加費、企業協賛金など。

<大会概要>

【期 日】平成25年10月19日(土)~21日(月)

【主会場】米子コンベンションセンター

【主 催】「エコツーリズム国際大会2013 in鳥取」実行委員会

〔 構 成 員 : 大山観光局、皆生温泉旅館組合、米子・境港商工会議所、鳥取環境大学、環境省中国四国地方環境事務所、西部管内9市町村・観光協会、旅行会社など約50団体 〕

【共 催】NPO法人日本エコツーリズム協会(JES)

【テーマ】住まうように旅する「森・里・海、水の連環と人々の営み」

【スケジュール】

● 19日(土):開会式、基調講演、トークセッション、交流会

● 20日(日):体験型ツアー

(例:大山ブナの森ウオークコース、山陰海岸ジオパークコースなど7コース程度)

● 21日(月):体験型ツアー参加者報告会、大会総括、閉会式

【参加者概算数】延べ2,000人

※国外へのPRはJESと連携して、各国政府観光局・大使館を通じて行うとともに、県独自としても交流を進めている地域(韓国江原道、台湾台中市等)にも参加を呼びかける。

平成25年度一般会計当初予算説明資料

西部総合事務所県民局（電話：0859-31-9372）

→ 事業実施：西部総合事務所地域振興局

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備 考												
				国庫支出金	起 債	その他	一般財源													
「エコツーリズム国際大会2013 in 鳥取」開催支援事業	(17,040)	(0)	(17,040)			(17,040)														
事業内容の説明				※緊急雇用創出事業で一括計上																
<p>1 事業の目的・概要 「どっとりグリーンウェイブ」の主要イベントの一つ、「エコツーリズム国際大会2013 in 鳥取」の円滑な開催に向けて、地元の準備・運営体制を整備する（委託実施）。</p> <p>2 主な事業内容 (1) 雇用創出人数 4人 (2) 委託先 「エコツーリズム国際大会2013 in 鳥取」実行委員会 (3) 事業内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>人数</th> <th>主 な 業 務 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外国対応スタッフ (英語、韓国語各1)</td> <td>2</td> <td>申込・問合せ対応、翻訳、情報発信、通訳等</td> </tr> <tr> <td>ボランティアセンター スタッフ</td> <td>1</td> <td>ツアーボランティア等募集、ボランティアとの連絡調整、研修等</td> </tr> <tr> <td>国際リゾート推進 コーディネーター</td> <td>1</td> <td>大会実行委員会に関する業務、国内外への情報発信及び普及促進活動等</td> </tr> </tbody> </table>									区 分	人数	主 な 業 務 内 容	外国対応スタッフ (英語、韓国語各1)	2	申込・問合せ対応、翻訳、情報発信、通訳等	ボランティアセンター スタッフ	1	ツアーボランティア等募集、ボランティアとの連絡調整、研修等	国際リゾート推進 コーディネーター	1	大会実行委員会に関する業務、国内外への情報発信及び普及促進活動等
区 分	人数	主 な 業 務 内 容																		
外国対応スタッフ (英語、韓国語各1)	2	申込・問合せ対応、翻訳、情報発信、通訳等																		
ボランティアセンター スタッフ	1	ツアーボランティア等募集、ボランティアとの連絡調整、研修等																		
国際リゾート推進 コーディネーター	1	大会実行委員会に関する業務、国内外への情報発信及び普及促進活動等																		
「スポーツツーリズム」先進モデル事業	(18,273)	(0)	(18,273)			(18,273)														
事業内容の説明				※緊急雇用創出事業で一括計上																
<p>1 事業の目的・概要 国内外からのスポーツツーリズムによる誘客促進を図るため、総合窓口拠点（ツアーデスク）に中核人材等を配置し、旅行商品の企画、販売、実施などを行う体制を整備する。併せて、大会ボランティアの相互利用調整や共同イベントの企画等を中心となって行うコーディネーターを配置し、地域のアウトドアスポーツ団体の連携強化、活性化を図る（委託実施）。</p> <p>2 主な事業内容 (1) 雇用創出人数 3人 (2) 委託先 合同会社皆生未来開発 (3) 事業内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>人数</th> <th>主 な 業 務 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中核人材</td> <td>1</td> <td>スポーツ商品の企画・造成・販売、地元調整、情報発信等</td> </tr> <tr> <td>スポーツツーリズム アドバイザー</td> <td>1</td> <td>国内外でのスポーツ大会、競技等への参画、指導、人材育成等</td> </tr> <tr> <td>コーディネーター</td> <td>1</td> <td>大会ボランティアの相互利用調整、共同イベントの企画、情報発信、連絡調整等</td> </tr> </tbody> </table>									区 分	人数	主 な 業 務 内 容	中核人材	1	スポーツ商品の企画・造成・販売、地元調整、情報発信等	スポーツツーリズム アドバイザー	1	国内外でのスポーツ大会、競技等への参画、指導、人材育成等	コーディネーター	1	大会ボランティアの相互利用調整、共同イベントの企画、情報発信、連絡調整等
区 分	人数	主 な 業 務 内 容																		
中核人材	1	スポーツ商品の企画・造成・販売、地元調整、情報発信等																		
スポーツツーリズム アドバイザー	1	国内外でのスポーツ大会、競技等への参画、指導、人材育成等																		
コーディネーター	1	大会ボランティアの相互利用調整、共同イベントの企画、情報発信、連絡調整等																		

平成25年度一般会計当初予算説明資料

西部総合事務所県民局（電話：0859-31-9372）

→ 事業実施：西部総合事務所地域振興局

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考									
				国庫支出金	起債	その他	一般財源										
外国人観光客受け入れ環境整備事業	(12,470)	(0)	(12,470)			(12,470)											
事業内容の説明				※緊急雇用創出事業で一括計上													
<p>1 事業の目的・概要 平成24年度、県西部地域が国の「訪日外国人旅行者受入環境整備地域（地方拠点）」に指定されたことに伴い、取り組むこととなった外国人観光客受け入れのための環境整備事業を、平成25年度も継続的・安定的に実施する（委託実施）。</p> <p><主な取組事業></p> <p>(1) 県西部周遊バスツアー 毎週金曜日実施している大山の観光スポットを巡るバスツアー</p> <p>(2) 観光ナビアプリ 観光モデルコースや交通手段等の情報を確認できるスマートフォンアプリ。韓国語、英語、日本語に対応し、クレジットカード決済も可能（一部契約店のみ）。</p> <p>(3) スーツケース配達サービス 米子鬼太郎空港から米子市内のホテル・旅館へスーツケースを配達するサービス。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 雇用創出人数 3人</p> <p>(2) 委託先 NPO法人大山中海観光推進機構</p> <p>(3) 事業内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 10%;">人数</th> <th style="width: 70%;">主 な 業 務 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バスツアースタッフ</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>バスツアーの現地手配、ツアーの随行案内等</td> </tr> <tr> <td>オペレーター (現地手配人)</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td>観光ナビアプリ機能の品質向上、スーツケース配達サービスの手配、海外向け情報発信等</td> </tr> </tbody> </table>									区 分	人数	主 な 業 務 内 容	バスツアースタッフ	1	バスツアーの現地手配、ツアーの随行案内等	オペレーター (現地手配人)	2	観光ナビアプリ機能の品質向上、スーツケース配達サービスの手配、海外向け情報発信等
区 分	人数	主 な 業 務 内 容															
バスツアースタッフ	1	バスツアーの現地手配、ツアーの随行案内等															
オペレーター (現地手配人)	2	観光ナビアプリ機能の品質向上、スーツケース配達サービスの手配、海外向け情報発信等															

平成25年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

まんが王国官房(内線:7238)
(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
まんが王国発 ソフトパワー事業	306,310	970,913	△664,603	45,797		(基金繰入金) 253,794 (雑入) 27	6,692	
トータルコスト	353,974千円(前年度1,052,178千円) [正職員:6人 非常勤職員3人]							
主な業務内容	まんが・アニメイベントの企画立案・運営業務							
工程表の政策目標(指標)	まんが・アニメ等を活用した新たな魅力づくり							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
平成24年度に実施した「国際まんが博」、「国際マンガサミット」などの成果を踏まえ、意欲的な市町村、民間団体等と連携して、「まんが王国とっとり」を発展させていく。								
《平成24年度の成果》								
<ul style="list-style-type: none"> ・米子市の「米子ワンダー」、北栄町のコナンを生かしたまちづくり等新たなまちおこしの機運が盛り上がり、アルファビルへのコンテンツ企業の集積、JR由良駅から青山剛昌ふるさと館までのコナン通りの整備といった具体の活動が始まった。 ・「まんが王国とっとり」の認知度が全国的(海外にも)に高まり、先進県である高知県や川崎市等との連携が始まった。 ・県内外の漫画家等とのネットワークが広がり、今後の連携の基礎ができた。 ・食のまんがが家との協働により販売された駅弁、商品のパッケージ化など、まんがを活用した新たな商品開発の動きが盛んになった。 ・因幡万葉歴史館、日南町美術館では、施設の魅力をまんがという新たな視点から発信し、ファン層の拡大につながった。 								
《経済効果》								
「国際まんが博」開催に伴う県内への経済波及効果は次のとおり。								
163億円(直接波及効果90億、間接波及効果73億円)								
《前提条件》								
<ul style="list-style-type: none"> ・県内外来場者比率 県内62.3% 県外37.7% ・県内来場者の消費単価(飲食・土産・交通費) 1,193円 ・県外来場者の消費単価(飲食・土産・交通費) 4,730円 ・来場者の平均宿泊単価 6,954円 								
*ちなみに、水木しげるロード、青山剛昌ふるさと館等常設拠点を除いたものは、77億2千万円であった。								
《今後の取組の方向》								
○「まちづくり」や「観光」の振興								
⇒・まんが関連拠点の充実や新たな拠点の整備、大規模イベントの定着								
・まんが関連施設やラッピング列車と本来の観光素材(自然、温泉、食など)とを組み合わせ合わせた県内周遊の仕組みづくり								
○情報発信の充実								
⇒・高知県、川崎市、出版社等との連携イベントの実施								
・国際マンガサミットへの継続出展								
○まんが文化・産業の振興								
⇒・まんが教室、国際マンガコンテストの継続開催								
・まんがアニメ関連民間団体等との連携強化、商品開発等への支援								
○その他								
⇒・まんが・アニメ関連資料を収集・保管し、定期的に展示会等を開催していく拠点整備の検討								

2 主な事業内容

(単位：千円)

事業内容		金額
1 まちづくり・観光の振興		
(1) 市町村・民間団体が主役となった取組への支援 平成24年度に引き続き、地域のまんが関連拠点の充実やまんがを活用した地域振興に繋がる取組を支援する。 ・JR由良駅、青山剛昌ふるさと館、米子アルファビル、水木しげる記念館等拠点の充実 ・まんがやアニメをテーマとしたイベントの開催 ・食とまんがの協働による商品開発など 《まんが王国国家戦略プロジェクト推進補助金》		92,000
区分	補助率 上限額 予定件数	予算額
まんが拠点整備 支援事業	1/2 8,000 4団体(市町村・民間)	32,000
戦略プロジェクト事業	2/3 2,000 5団体(民間)	10,000
協働推進事業	1/2 1,000 10団体(市町村・民間)	10,000
個別イベント開催 支援事業	定額 - 米子映画事変、アニカルまつり、中華コスプレ、ゆるキャラカップ	40,000
(2) まんが・アニメイベント「まんが博・乙(おつ)」の開催 「国際まんが博」を通じて蓄積された漫画家等との繋がりや情報、経験を活かしたイベントを開催し、観光客誘致、情報発信など、鳥取からまんがやアニメの持つ魅力について国内外に強かに発信する。 ア. 時期 平成25年7月～8月 イ. 場所 中部地域 ウ. 内容 <展示> アニメ50年史、水木しげる戦争新聞展、ガイナックス展、ヒトコマまんが展、など <ステージイベント> 人生画力対決、アニソン・声優ショー など *文化庁の「地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業」に補助申請中		93,376
2 情報発信の充実		
他の自治体やまんが・アニメ関連団体と連携して行う各種イベントを通じて、「まんが王国とっとり」を国内外に強く発信するとともに、各団体、地域との交流を深める。		
項目	内容	予算額
高知県との連携	・首都圏での「まんが王国会議」開催 ・まんが甲子園交流試合 ・まんが家相互派遣事業	10,820
川崎市との連携	・川崎市市民ミュージアムで「まんが王国とっとり」をPRする展示会を開催	2,713
出版社等との連携 (イベント開催)	・青山剛昌世界展(小学館) ・水木しげる戦争新聞展(水木プロ) ・ガイナックス展(ガイナックス)	30,724
出版社等との連携 (情報発信)	・本県をテーマとしたまんが雑誌の発行 ・出版等と連携したまんがイベントへの出展	24,612
国際マンガサミット 出展作品の展示	・国際マンガサミット鳥取大会メモリアル展示 ・国際マンガサミット香港大会作品展示	3,560

海外まんが博覧会等への出展	・国際マンガサミット香港大会へのブース出展 ・韓国、台湾でのまんがイベントへのブース出展	11,033										
まんが王国とっとり通信等	・まんがを活用した県内観光地やイベント紹介 ・まんが王国とっとりホームページの運営	4,420										
3 まんが文化・産業の振興												
(1) 文化の振興 漫画家や動画制作者等の人材を活用・育成するため、県内及び国内外のイベント等での活躍の場、発表の場を提供するとともに、県内在住の漫画家等のネットワーク構築を支援する。			11,960									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国際マンガコンテストの開催</td> <td>募集部門：1コマ、4コマ、ストーリーの3部門 テーマ：「環境」</td> <td>10,406</td> </tr> <tr> <td>県内漫画家の組織化支援</td> <td>・県内漫画家の組織化支援 ・県内イベントでのまんが教室、似顔絵教室等の開催支援</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table>	項目	内容	予算額	国際マンガコンテストの開催	募集部門：1コマ、4コマ、ストーリーの3部門 テーマ：「環境」	10,406	県内漫画家の組織化支援	・県内漫画家の組織化支援 ・県内イベントでのまんが教室、似顔絵教室等の開催支援	500		
項目	内容	予算額										
国際マンガコンテストの開催	募集部門：1コマ、4コマ、ストーリーの3部門 テーマ：「環境」	10,406										
県内漫画家の組織化支援	・県内漫画家の組織化支援 ・県内イベントでのまんが教室、似顔絵教室等の開催支援	500										
(2) 産業の振興 県内でコンテンツ産業に携わる人の技術向上の場として、全国的に活躍しているプロデューサー等を講師とした研修会等を開催する。 開催時期等：年4回 経費：1,054千円(講師謝金、会場費等) *コンテンツ産業の創業、誘致、雇用創出に対する支援は、別途、商工労働部で対応												
4 拠点施設整備等												
まんが・アニメ関連資料を収集・保管し、定期的に展示会等を開催していくような拠点の整備について検討を進める。												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>拠点施設の検討</td> <td>拠点として整備すべき機能や候補地等について関係者と協議する。</td> <td>1,829</td> </tr> <tr> <td>明治大学マンガ図書館資料の展示</td> <td>明治大学が保有するまんが・アニメ関連資料を県内で展示する。 開催場所：県内3カ所</td> <td>4,164</td> </tr> </tbody> </table>	項目	内容	予算額	拠点施設の検討	拠点として整備すべき機能や候補地等について関係者と協議する。	1,829	明治大学マンガ図書館資料の展示	明治大学が保有するまんが・アニメ関連資料を県内で展示する。 開催場所：県内3カ所	4,164		5,993
項目	内容	予算額										
拠点施設の検討	拠点として整備すべき機能や候補地等について関係者と協議する。	1,829										
明治大学マンガ図書館資料の展示	明治大学が保有するまんが・アニメ関連資料を県内で展示する。 開催場所：県内3カ所	4,164										
(拠点施設の機能) ・保管庫、展示室、イベントホール 等												
(関連団体) ・明治大学まんが図書館、ガイナックス 等												
5 事務費(非常勤職員報酬、関係者との連絡調整経費等)			15,099									

平成25年度組織改正に伴う移管事業(部局間移管) 一覧

観光政策課 → (生活環境部) 緑豊かな自然課と共管

(単位:千円)

事業名	予算額	財源内訳				備考
		国庫支出金	起債	その他	一般財源	
山陰海岸世界ジオパークネットワーク推進事業	69,076	26,007		20	43,049	
合計	69,076	26,007		20	43,049	

東部総合事務所県民局 → (地域振興部) 東部振興監 東部振興課

(単位:千円)

事業名	予算額	財源内訳				備考
		国庫支出金	起債	その他	一般財源	
とっとり因幡グリーンツーリズム推進事業	1,648				1,648	
岩美キッズトライアスロン支援事業	800				800	
東部地区観光資源活用事業	771				771	
合計	3,219				3,219	

八頭総合事務所県民局 → (地域振興部) 東部振興監 東部振興課

(単位:千円)

事業名	予算額	財源内訳				備考
		国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「幸せはこぶ福(29)ロード」事業	1,129				1,129	
合計	1,129				1,129	

平成25年度当初予算歳入歳出事項別明細書(文化観光局)

(単位:千円)

款項目 節	2款 総務費						7款 商工費			
	うち文化観光局						うち文化観光局			
	2項 企画費			3項 交通対策費			1項 商業費		3項 金融対策費	
			1目 企画総務費	2目 計画調査費	3目 交通対策費					
1 報酬	497,437	60,749	60,749	51,371	9,378	68,380	11,049			
2 給料	2,887,560	110,430	110,430	110,430		404,910	88,344			
3 職員手当等	4,351,497	55,650	55,650	55,650		204,050	44,520			
4 共済費	1,126,780	49,449	49,449	48,539	910	192,154	34,131			
5 災害補償費	500									
6 恩給及び退職年金	28,690									
7 貸金	33,195									
8 報償費	208,454	9,555	9,555	1,080	8,475	568,571	6,900			
9 旅費	227,083	35,701	35,701	27,556	8,145	90,844	39,095			
費用弁償	18,018	5,061	5,061	4,550	511	10,977	3,545			
普通旅費	160,442	16,493	16,493	12,800	3,693	47,803	21,094			
特別旅費	48,623	14,147	14,147	10,206	3,941	32,064	14,456			
10 交際費	3,750									
11 需用費	603,843	17,719	17,719	8,985	8,734	64,057	30,910			
12 役務費	546,355	18,196	18,196	7,870	10,326	43,413	16,866			
13 委託料	3,424,816	759,581	759,581	49,754	709,827	666,190	312,354			
14 使用料及び賃借料	583,393	20,850	20,850	13,500	7,350	124,415	49,387			
15 工事請負費	608,683	369,368	369,368		369,368	10,000	10,000			
16 原材料費										
17 公有財産購入費										
18 備品購入費	316,510	11,164	11,164	705	10,459	2,752				
19 負担金、補助及び交付金	7,679,010	350,856	350,856	59,071	199,992	91,793	8,246,691	440,582		
20 扶助費										
21 貸付金	150,000						1,407,656	41,741	41,741	41,741
22 補償、補填及び賠償金	2,000									
23 償還金、利子及び割引料	189,300									
24 投資及び出資金	3,000						2,500			
25 積立金	225,428									
26 寄付金										
27 公課費	297									
28 繰出金							21,948			
予備費										
計	23,697,581	1,869,268	1,869,268	434,511	1,342,964	91,793	12,118,531	1,125,879	41,741	41,741
財源										
内 国庫支出金	2,118,794						71,804	45,797		
地方債	323,000						30,000			
内 その他	1,437,511	50,634	50,634	31,257	19,377		1,701,660	295,658	41,741	41,741
内 一般財源	19,818,276	1,818,634	1,818,634	403,254	1,323,587	91,793	10,315,067	784,424		

平成25年度当初予算歳入歳出事項別明細書(文化観光局)

(単位:千円)

款 項 目 節	7款 商工費		文化観光局 合計
	うち文化観光局		
	7項 観光費	1目 観光費	
1 報 酬	11,049	11,049	71,798
2 給 料	88,344	88,344	198,774
3 職員手当等	44,520	44,520	100,170
4 共 済 費	34,131	34,131	83,580
5 災 害 補 償 費			
6 恩給及び退職年金			
7 賞 金			
8 報 償 費	6,900	6,900	16,455
9 旅 費	39,095	39,095	74,796
費用弁償	3,545	3,545	8,606
普通旅費	21,094	21,094	37,587
特別旅費	14,456	14,456	28,603
10交 際 費			
11需 用 費	30,910	30,910	48,629
12役 務 費	16,866	16,866	35,062
13委 託 料	312,354	312,354	1,071,935
14使用料及び貸借料	49,387	49,387	70,237
15工 事 請 負 費	10,000	10,000	379,368
16原 材 料 費			
17公有財産購入費			
18備 品 購 入 費			11,164
19負担金、補助及び交付金	440,582	440,582	791,438
20扶 助 費			
21貸 付 金			41,741
22補償、補填及び賠償金			
23償還金、利子及び割引料			
24投 資 及 び 出 資 金			
25積 立 金			
26寄 付 金			
27公 課 費			
28繰 出 金			
予 備 費			
計	1,084,138	1,084,138	2,995,147
財 源			
内 国 庫 支 出 金	45,797	45,797	45,797
内 地 方 債			
内 そ の 他	253,917	253,917	346,292
訳 一 般 財 源	784,424	784,424	2,603,058

節 の 明 細

項 目		金額 (千円) 等
2 款	総務費	
2 項	企画費	
1 目	企画総務費	
給料	一般職員	30人
報酬	国際交流員	13人
負担金、補助 及び交付金	国内交流トライアル補助金	1,500
	日韓友好資料館企画運営委員会負担金	500
	モンゴル農業研修員生活支援補助金	224
	自治体国際化協会負担金	1,560
	新規招致者渡航費用負担金	270
	海外旅行傷害保険負担金	136
	C I R日本語講座集中研修負担金	85
	鳥取県国際交流財団事業費補助金	47,076
	国際交流拠点整備費負担金	6,000
	海外県人会活動支援補助金	1,000
	青年海外協力隊帰国報告会開催支援補助金	400
	青年海外協力隊普及広報活動支援補助金	320
2 目	計画調査費	
報酬	鳥取県文化芸術振興審議会委員	10人
	非常勤職員 (監視員・作業補助)	69人
	非常勤職員	3人
負担金、補助 及び交付金	鳥取県総合芸術文化祭開催事業補助金	39,989
	鳥取県総合芸術文化祭実行委員会事務局運営費補助金	22,154
	ホスピテイル・プロジェクト開催支援補助金	1,500
	鳥の劇場運営委員会補助金	9,750
	鳥取県アートスタート活動支援事業補助金	1,500
	鳥取県文化団体連合会活動支援補助金	23,656
	鳥取県文化芸術活動支援補助金	8,662
	とっとり文化芸術探訪事業補助金	2,900
	鳥取県美術展覧会巡回展監視業務負担金	379
	学校における芸術文化事業 (芸術鑑賞教室等) 補助金	10,000
	青少年のための弦楽入門講座開催支援事業補助金	2,718
	芸術・文化に親しみやすい環境整備支援事業補助金	1,000
	鳥取県文化団体連合会国際交流支援事業補助金	2,470
	鳥取県魅力ある展示支援事業補助金	1,600
	鳥取県収蔵品等調査・活用支援事業補助金	700
	「JCF学生映画祭 in Tottori」開催支援補助金	3,000
	田村虎蔵生誕140周年顕彰事業補助金	4,679
	エンジン02鳥取開催事業負担金	4,500
	第51回全国女流アマ囲碁都市対抗戦開催事業補助金	2,000
	財団法人地域創造負担金	2,287
	アーティストリゾート・モデル創成事業補助金	20,000
	暮らしとアートとコノサキ計画補助金	14,360
	アーティストリゾート創造補助金	2,700
	「とっとりアートスタート」推進事業補助金	12,488
	植田正治生誕100年記念事業実行委員会補助金	5,000
2 款	総務費	
2 項	企画費	
3 目	交通対策費	
負担金、補助 及び交付金	米子ーソウル国際定期便に係る運航経費補助金	76,793
	山陰国際観光協議会負担金	15,000

節 の 明 細

項 目		金額 (千円) 等
7款	商工費	
1項	商業費	
3目	金融対策費	
	貸付金 観光開発促進資金貸付金	41,741
3項	観光費	
1目	観光費	
	給料 一般職員	24人
	報酬 非常勤職員	6人
負担金、補助 及び交付金	三徳山重要遺跡発掘調査補助金	733
	文化資産学習会開催助成支援補助金	400
	心に残る映画ロケ推進支援補助金	700
	とっとりフィルムコミッション活動支援補助金	300
	いなば温泉郷協議会支援補助金	1,310
	皆生温泉にぎわい創出事業実行委員会支援補助金	6,000
	因幡・但馬広域観光キャンペーン実行委員会負担金	500
	鳥取自動車道活性化協議会負担金	900
	鳥取・岡山観光連携事業負担金	2,000
	「ディスカバーウエスト」連携協議会負担金	5,000
	テレビ番組等誘致、制作支援補助金	2,400
	(社)日本観光協会負担金	718
	(社)日本観光振興協会全国広域観光振興事業負担金	700
	(社)日本観光振興協会中国支部負担金	120
	(社)日本観光振興協会観光情報システム分担金	200
	中国地域観光推進協議会負担金	50
	山陰観光連盟負担金	324
	(社)日本スポーツツーリズム推進機構負担金	50
	とっとりコンベンションビューロー運営費交付金	24,927
	コンベンション開催助成費補助金	31,175
	(社)鳥取県観光連盟運営費負担金	80,110
	鳥取空港-鳥取砂丘間乗合タクシー運行支援補助金	802
	観光二次交通整備支援補助金	1,100
	鳥取まるごとニューツーリズム支援補助金	12,500
	NEXCO西日本連携キャンペーン負担金	500
	実感!近くて快適!鳥取県アクセス向上PR強化事業補助金	9,000
	「ぐるっと山陰」誘客促進事業補助金(バス旅行商品支援)	15,000
	「ぐるっと山陰」誘客促進事業補助金(旅行商品造成支援)	5,000
	山陰観光協議会負担金	10,000
	宿泊促進WEB対策補助金	18,500
	温泉地を愉しむ空間創出プロジェクト補助金	5,000
	二次交通運行支援補助金	27,739
	鳥取県外国人観光客倍増促進補助金(外国人観光客受入環境整備事業)	5,000
	鳥取県外国人観光客誘致対策事業補助金	8,000
	鳥取県外国人観光客総客促進事業補助金	7,000
	鳥取県外国人観光客倍増促進補助金(外国人観光客誘致推進事業)	5,000
	中国地区広域観光検討部会負担金	3,100
	中国地方国際観光ビジネスフォーラム負担金	2,000
	山陰国際観光協議会負担金	4,000
	岡山県と連携した外国人観光客誘致事業負担金	800
	京都・兵庫・鳥取三府県広域観光推進実行委員会負担金	500
	関西国際空港内観光案内所整備運営協議会負担金	1,415
	国際観光振興機構負担金	680

節 の 明 細

目		金額(千円)等
7款	商工費	
3項	観光費	
1目	観光費	
負担金、補助 及び交付金	東アジア地方政府観光フォーラム恒久事務局運営負担金	800
	東アジア地方政府観光フォーラム参加支援事業補助金	400
	環日本海定期貨客船航路利用促進補助金	1,136
	鳥取まるごとニューツーリズム支援補助金(海外枠)	5,000
	バス借上料支援補助金	2,500
	まんが王国国家戦略プロジェクト推進補助金	92,500
	ハワイトライアスロンin湯梨浜大会支援補助金	1,000
	櫻杯争奪相撲選手権大会支援補助金	400
	鳥取中部圏域広域観光連携モデル事業補助金	13,000
	ワールドトレールコンファレンス誘致促進事業補助金	800
	SUN-IN未来ウォーク開催支援事業補助金	1,000
	韓国人ウォーカー誘客促進事業補助金	1,000
	大山エリア観光二次交通整備推進協議会負担金	1,500
	大山足湯整備費補助金	193
	全日本トライアスロン皆生大会開催支援補助金	5,000
	皆生・大山SEA TO SUMMIT開催事業補助金	1,000
	ツール・ド・大山開催支援補助金	500
	サイクルトレインイベント開催支援補助金	500
	サイクリングサポートシステム整備補助金	1,500
	自転車積載バス整備補助金	1,500
	「エコツーリズム国際大会2013in鳥取」開催支援補助金	5,400
	日野郡ニューツーリズム推進事業補助金	2,700

継続費についての前前年度末までの支出額、前年度末までの支出額又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額並びに事業の進行状況等に関する調書

【追加分】

款	項	事業名	全体計画							前年度末までの支出額	前年度末までの支出(見込)額	当該年度支出予定額	当該年度末までの支出予定額	翌年度以降の支出予定額	継続費の総額に対する進捗率
			年度	年度額	左の財源内訳				一般財源						
					特定財源	その他									
国庫支出金	地方債	その他	千円	千円	千円	千円	千円								
2 総務費	2 企画費	鳥取県立県民文化会館舞台床改修事業費	25	73,740				73,740			73,740				42.1
			26	101,536				101,536					101,536		57.9
			計	175,276				175,276				73,740		101,536	

債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書

当該年度提出に係る分

事 項	限 度 額	前年度末までの支出(見込)額		当該年度以降の支出予定額		左 の 財 源 内 訳					
		期 間	金 額 千円	期 間	金 額 千円	国庫支出金 千円	地 方 債 千円	特 定 財 源			一 般 財 源 千円
								そ の 他 千円			
平成25年度 鳥取県立県民文化会館管理委 託	千円 1,178,525		千円 1,178,525	平成26年度から 平成30年度まで	千円 1,178,525					千円 1,178,525	
平成25年度 鳥取県立倉吉未来中心管理委 託	474,585		474,585	平成26年度から 平成30年度まで	474,585					474,585	
平成25年度 鳥取県立児童謡館管理委託	363,075		363,075	平成26年度から 平成30年度まで	363,075					363,075	
平成25年度 鳥取県立米子コンベンションセン ター管理委託	653,680		653,680	平成26年度から 平成30年度まで	653,680					653,680	
平成25年度 鳥取県立夢みなとタワー管理委 託	592,145		592,145	平成26年度から 平成30年度まで	592,145					592,145	

債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度未までの支出額又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書

過年度議決済に係る分

事 項	限 度 額	前年度未までの支出(見込)額		当該年度以降の支出予定額		左 の 財 源 内 訳			
		期 間	金 額	期 間	金 額	特 定 財 源			一 般 財 源
						国庫支出金	地 方 債	そ の 他	
平成22年度 足湯整備費補助	2,025	平成23年度から 平成24年度まで	386	平成25年度から 平成31年度まで	1,351				1,351
平成24年度 とっとり伝統芸能まつり開催委託	26,498			平成25年度から 平成26年度まで	26,498				26,498
平成24年度 米子コンベンションセンター舞台 音響設備改修工事	416,940			平成25年度から 平成26年度まで	416,940				416,940
平成24年度 パスポート発給業務委託	140,000			平成25年度から 平成29年度まで	140,000			(手数料) 125,000	15,000
平成24年度 米子ソウル国際定期便運行経 費補助	153,586			平成25年度から 平成26年度まで	153,586				153,586

